

久留米集内



9638  
94-36

淺野陽吉  
武田令太郎  
共編

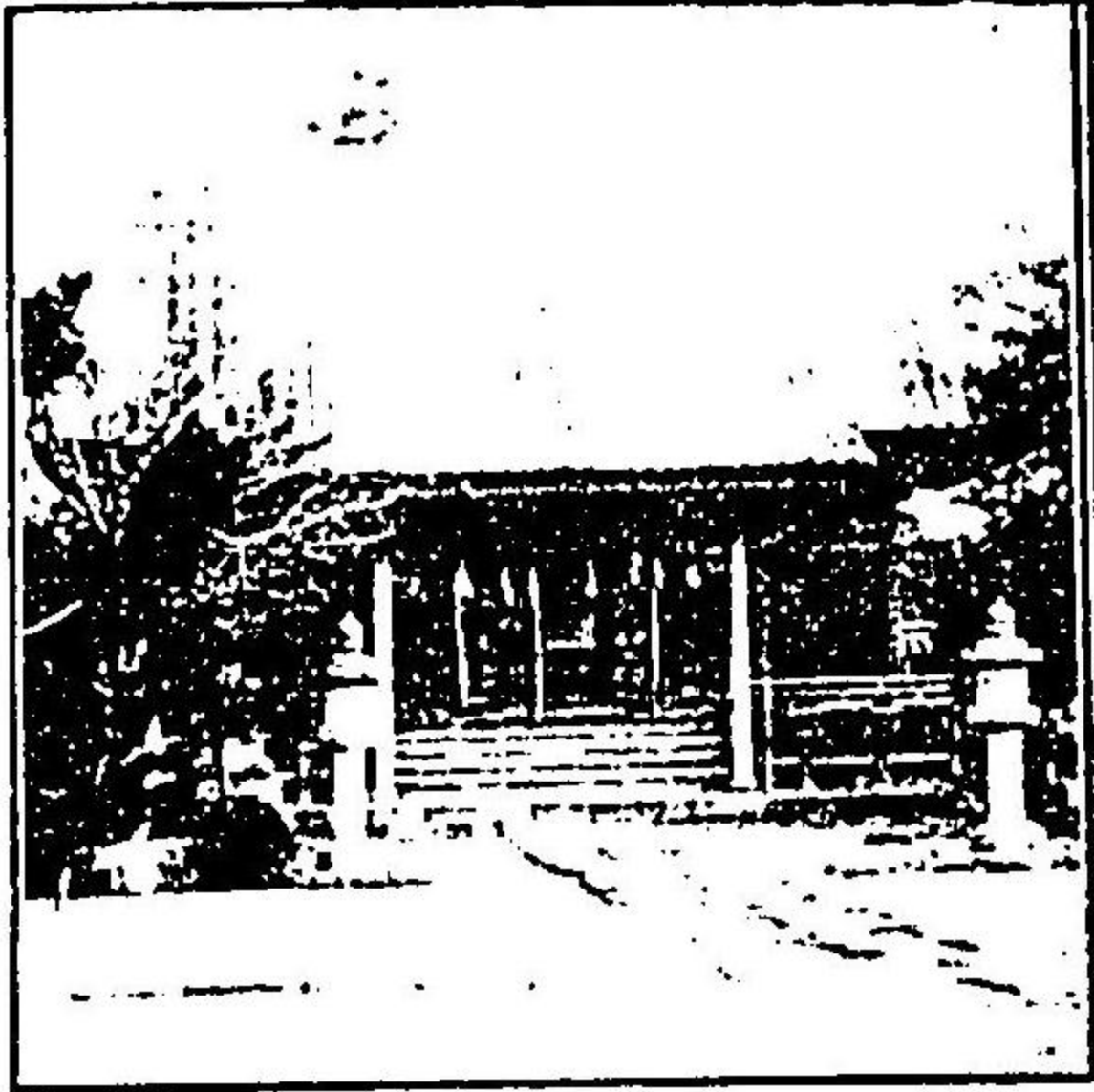
久留米案内 全

久留米  
金文堂





水天宮

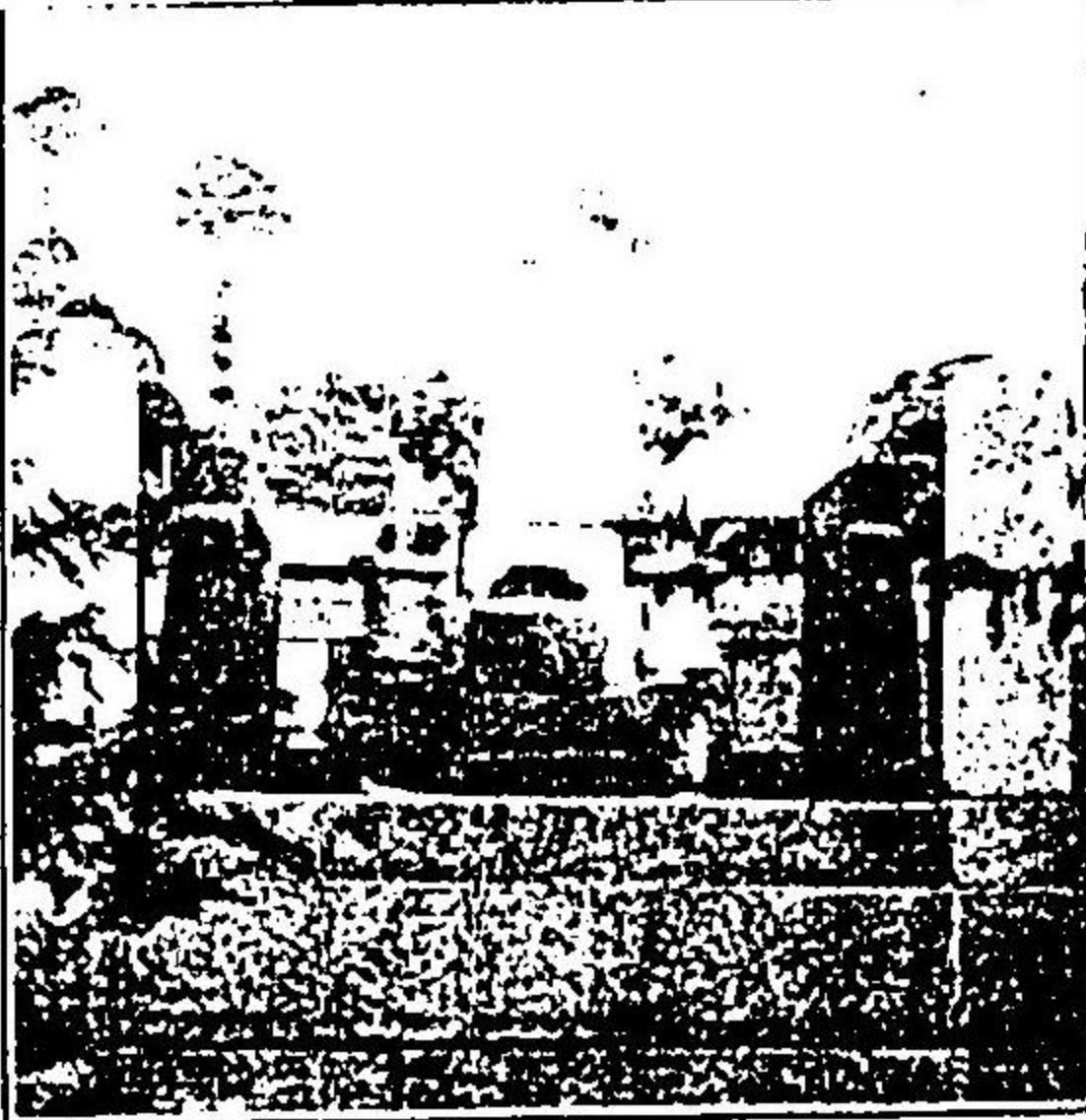


篠山神社

(行和所創刊版の真田原風景東京)



梅林寺



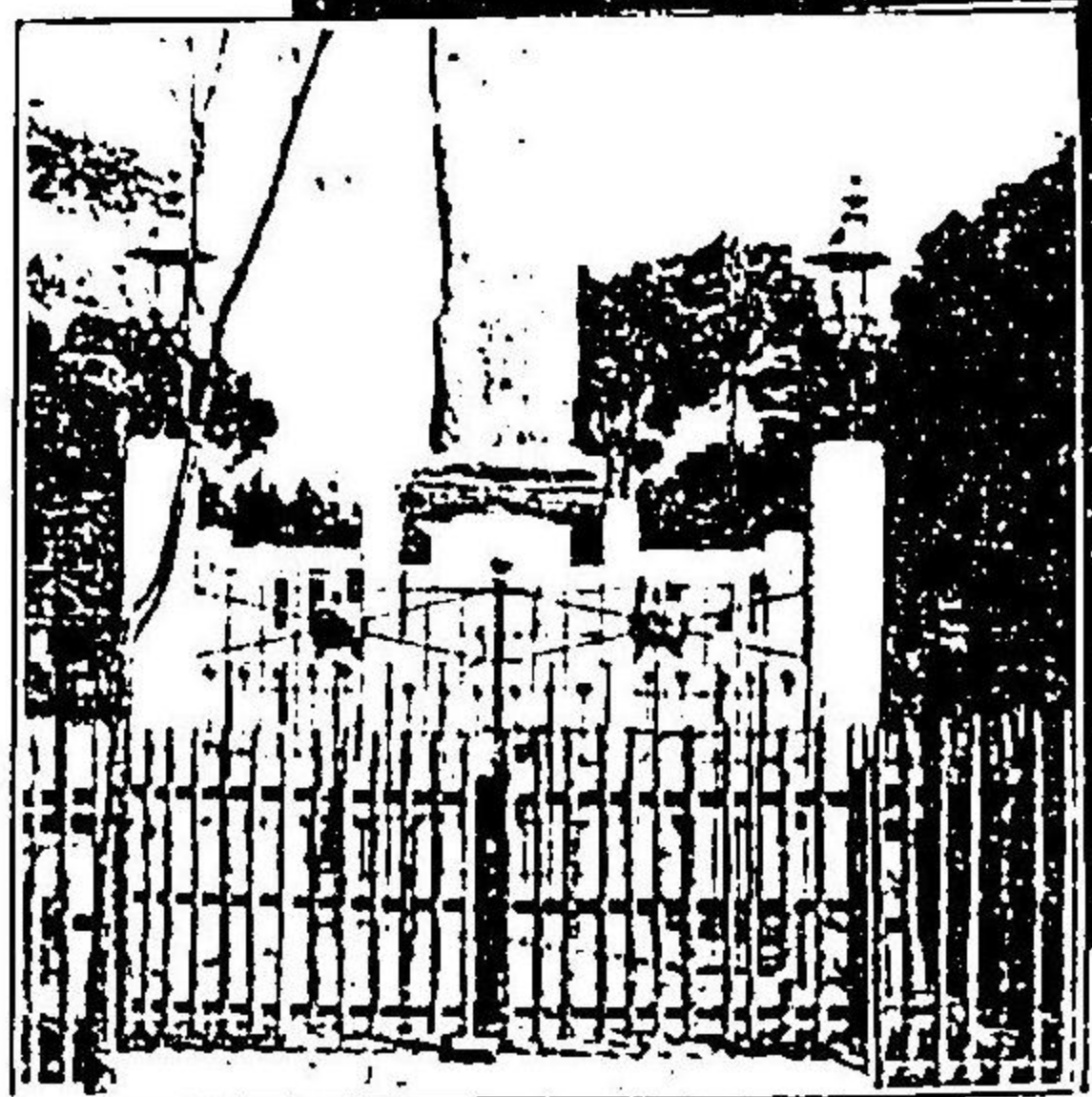
高山心之碑



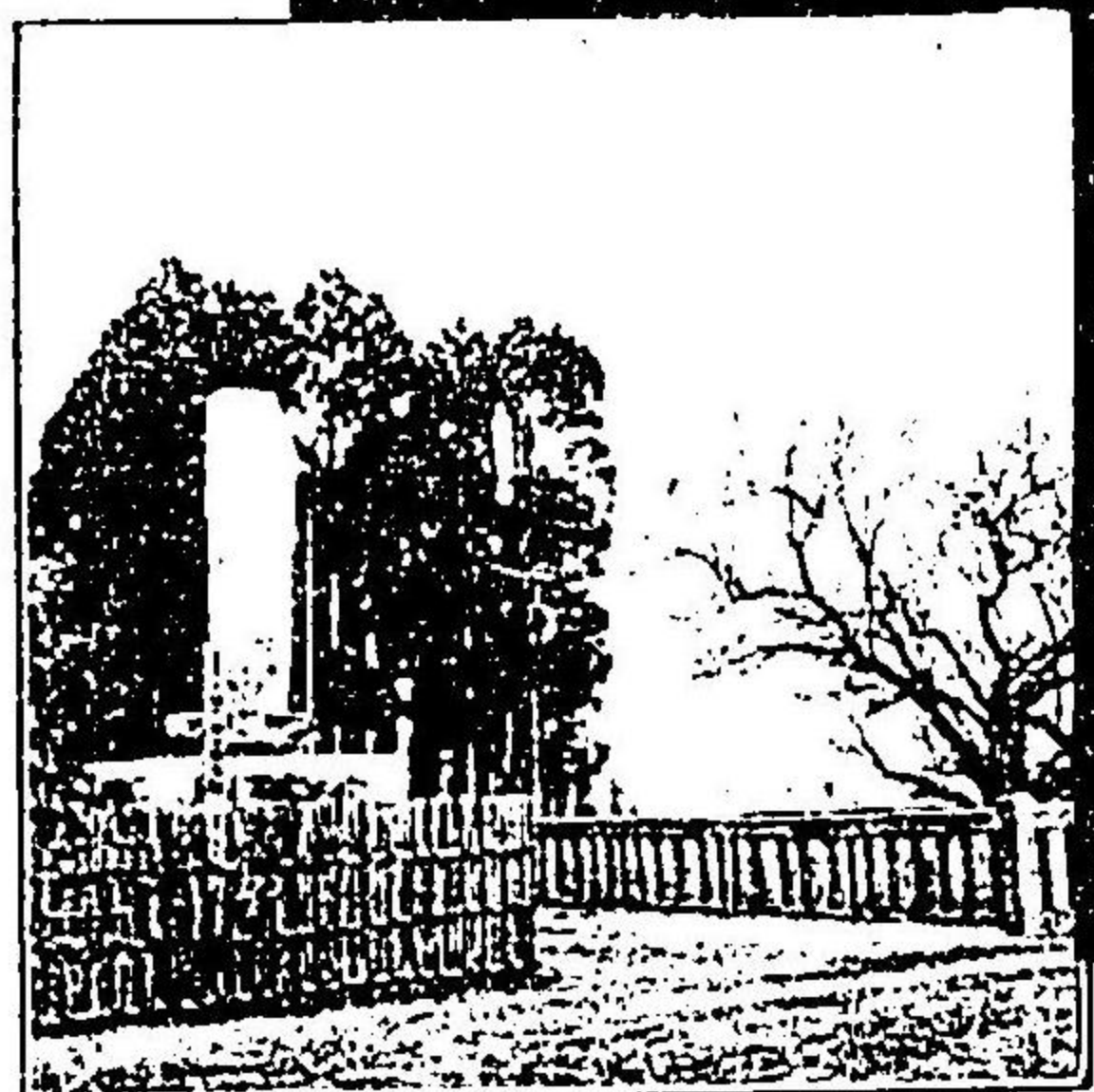
筑後川上流



高良山玉垂宮



井上傳女碑



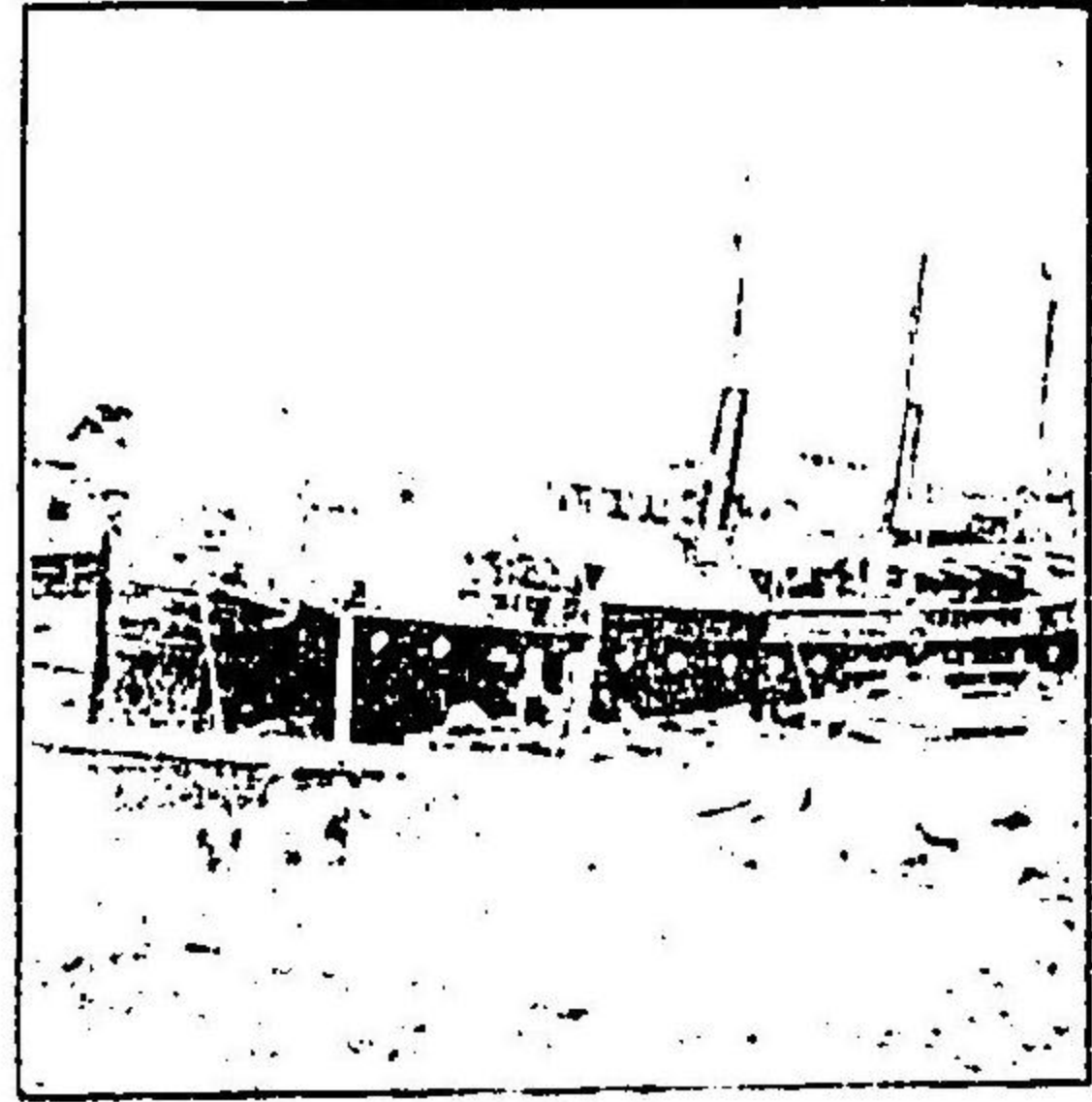
將軍梅及清手植松



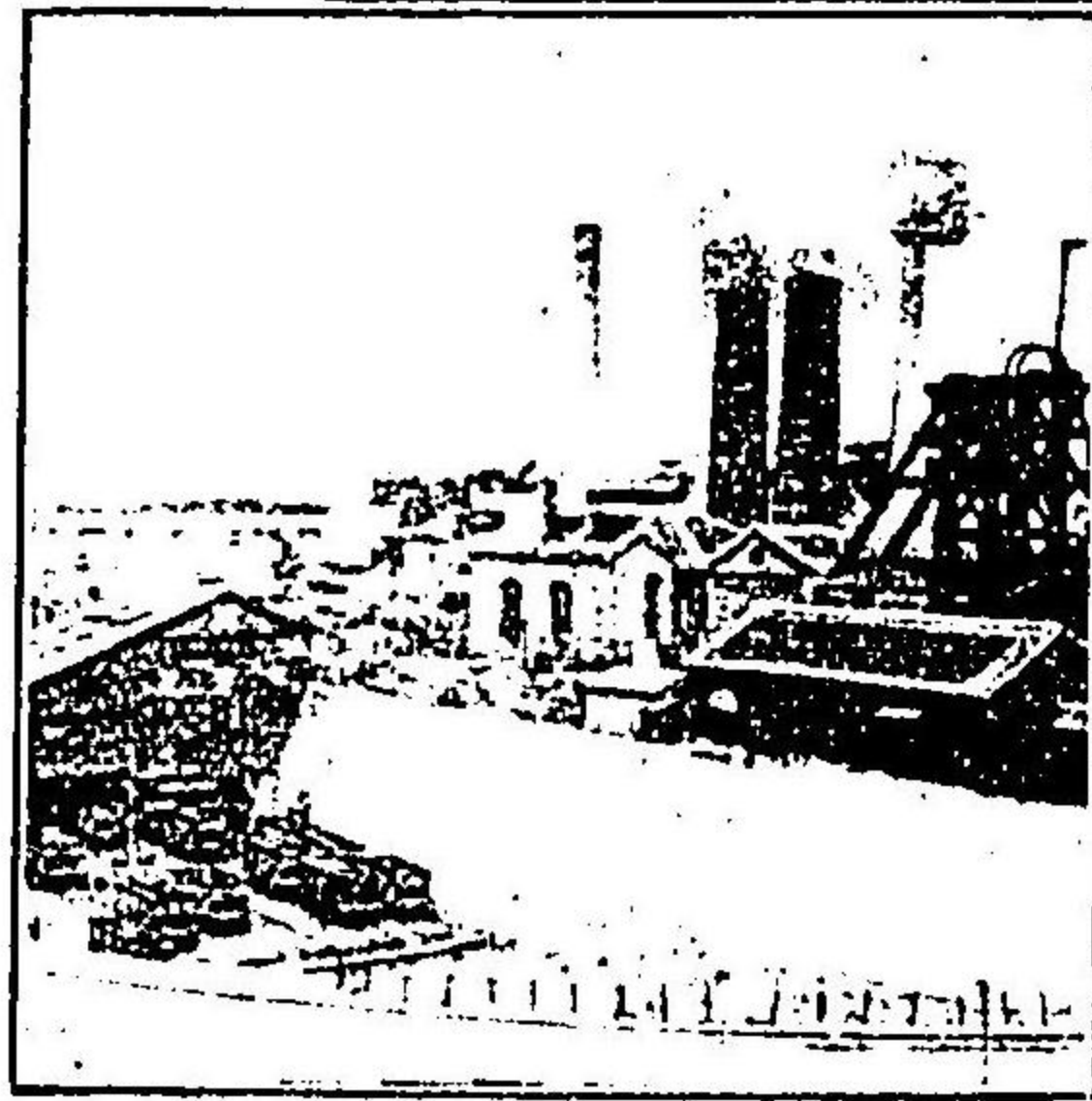
浄手洗橋



久留米市役所



若津港



三池炭坑





日向神山



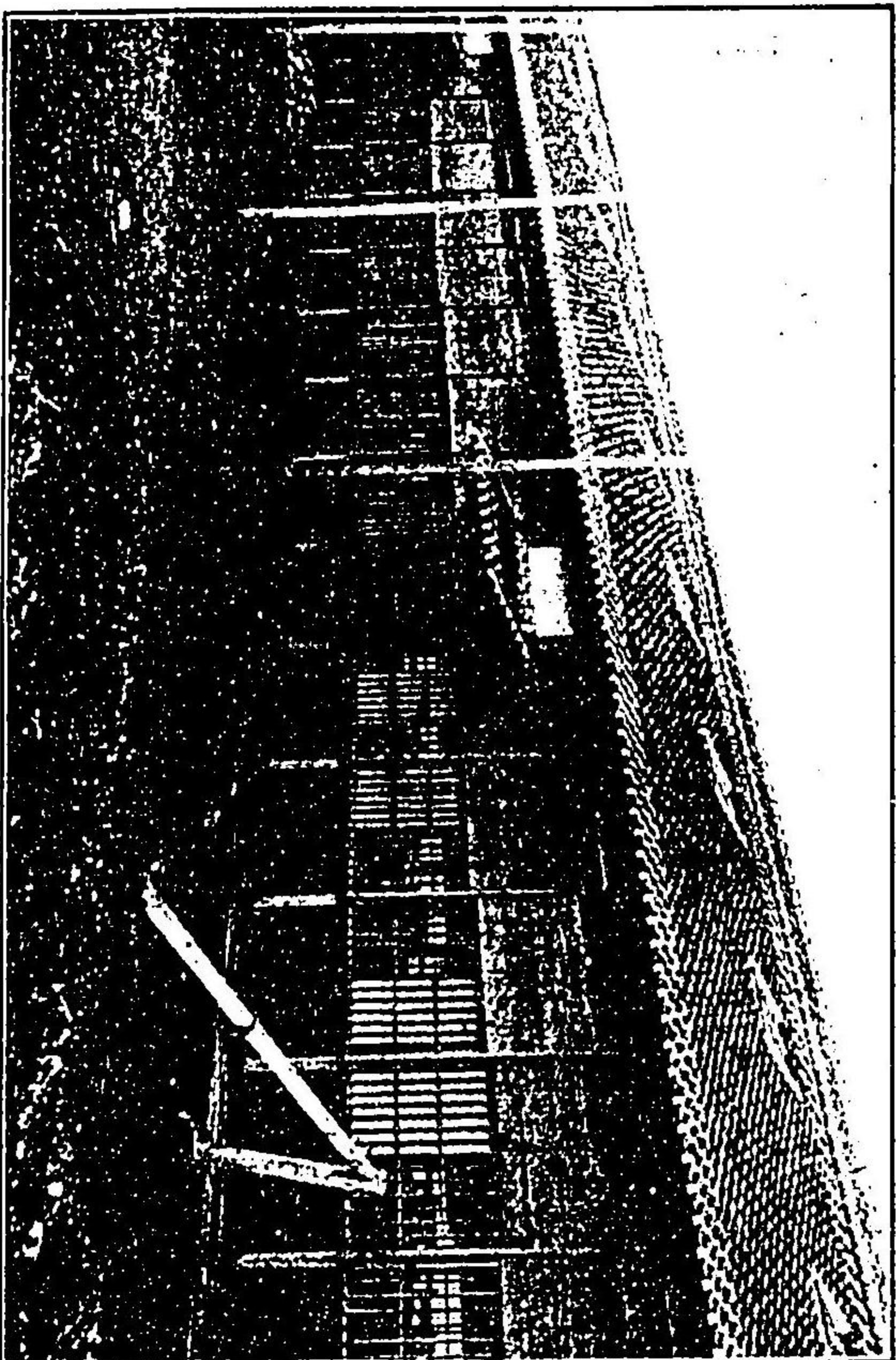
霊岩寺



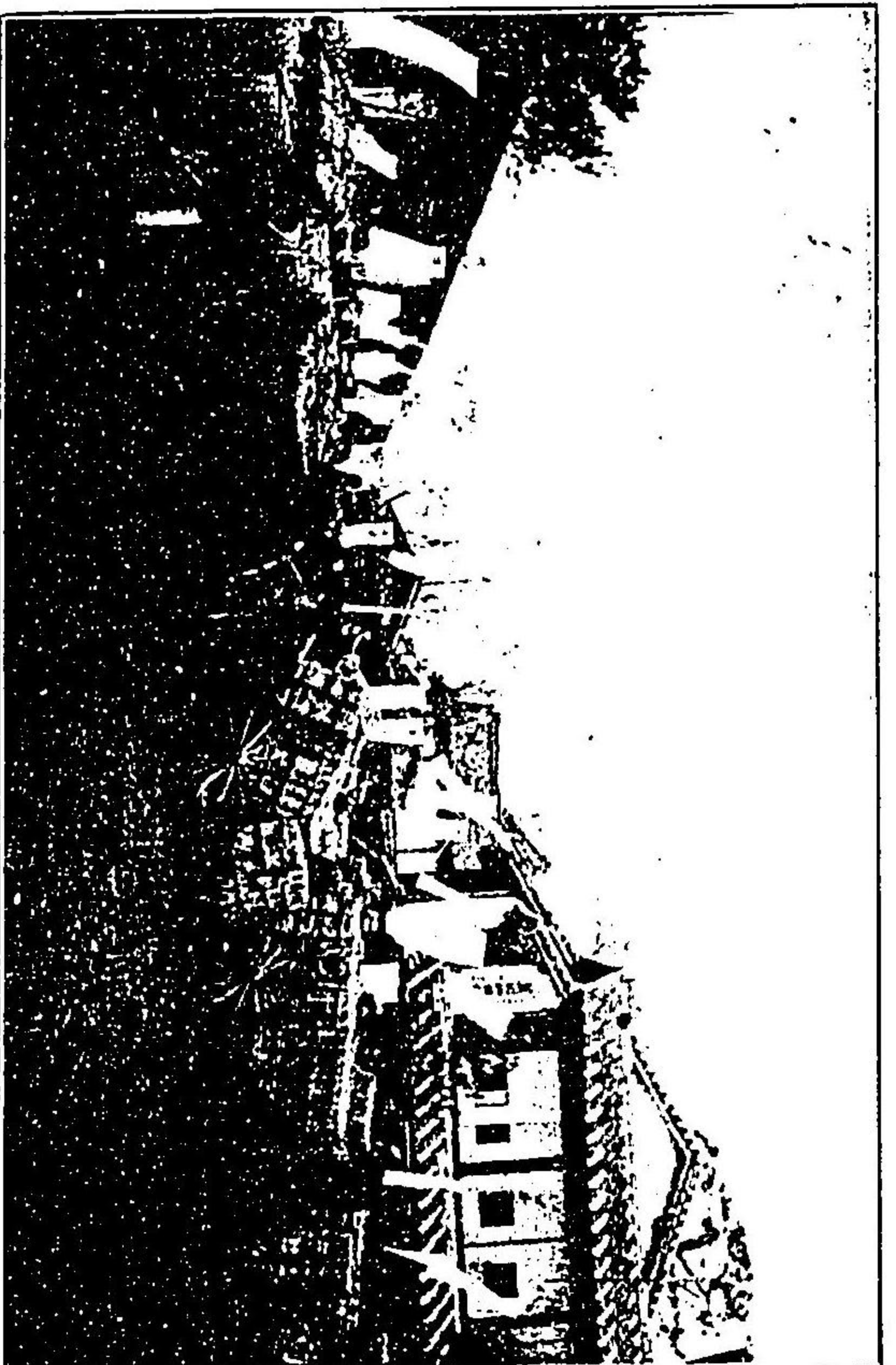
久留米市細工町一番地  
青々館



特許排製製造元

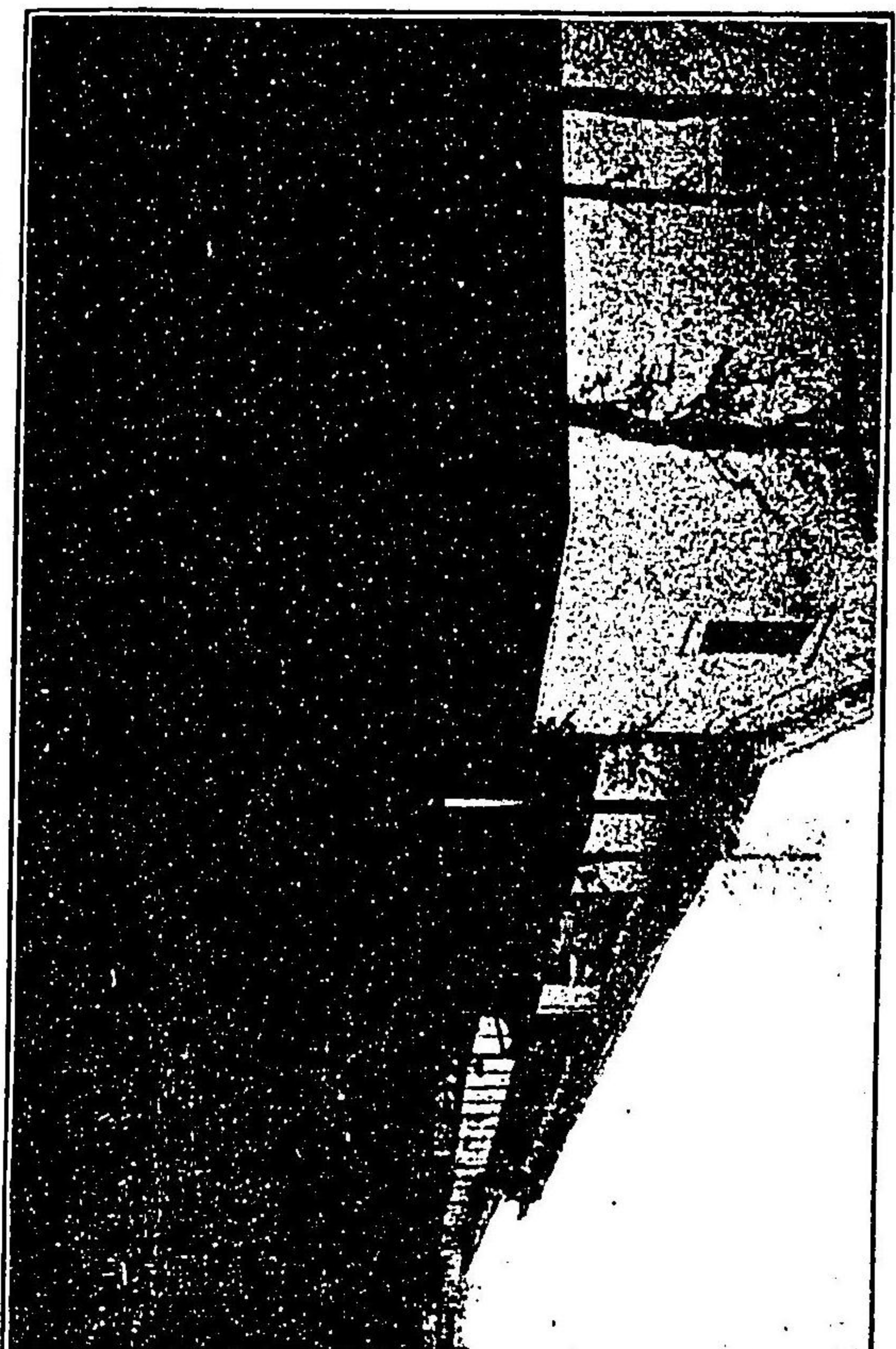


久留米市裏町國武工場



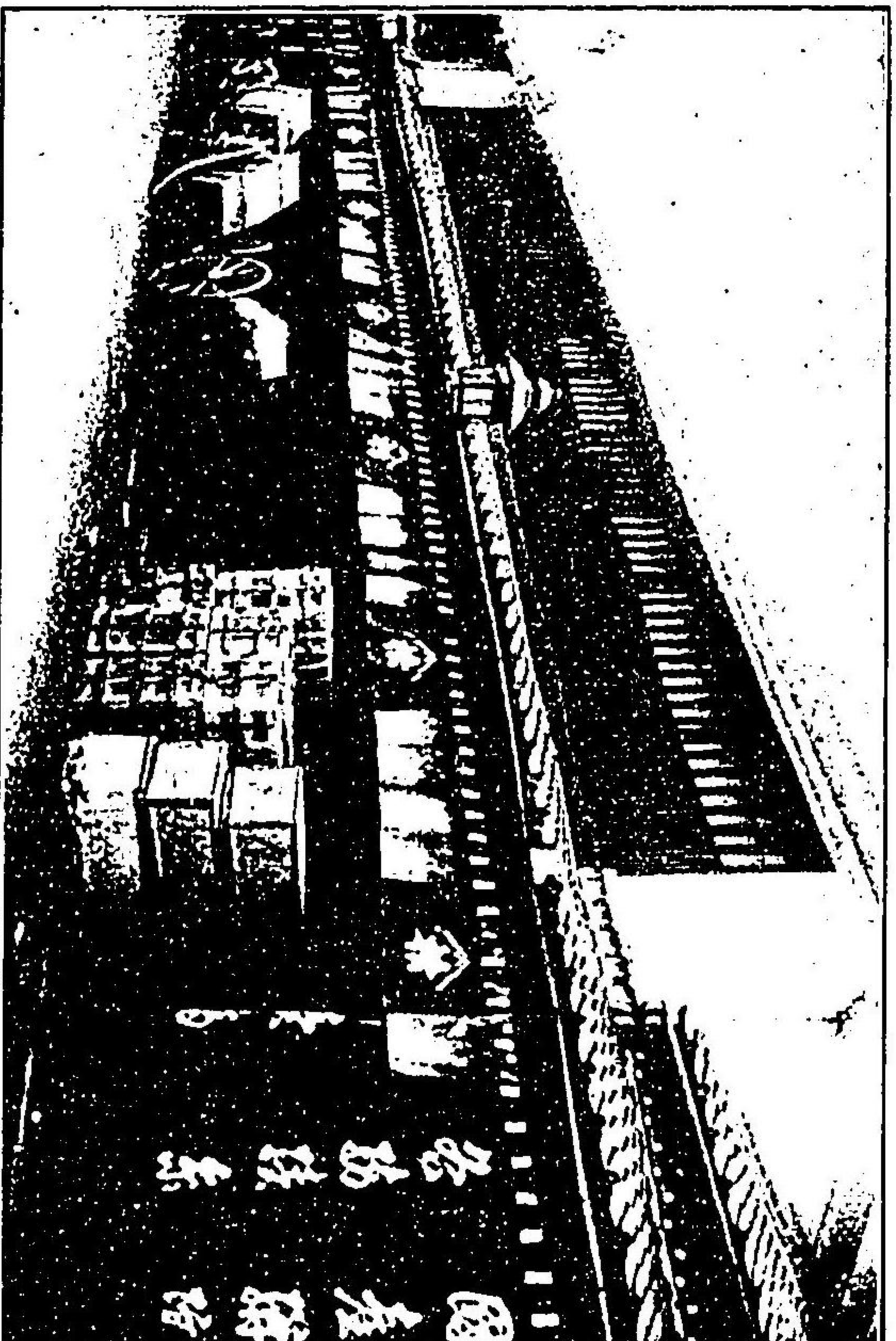
久留米車站前國武商店街光景

元 造 製 綹 緋



赤 松 緋 本 村 合 資 會 社 工 場

商卸糸績紡二并編緋



店商平庄村本日三町通市米留久



天下一品

商標

登録

たぢば



久米



# 津旅館

久留米市雨替町二番地  
布屋草子

稻益八儿

二

# 各國紡績糸

并二

國產紡績

石油販賣所

三

# 松

久留米市米屋町

秋山松次郎

# 荷物運送取扱廣告



內國通運株式會社 取引店

店主 中國與平

(電信略語〇ツ)

全國鐵道積荷物取扱所  
 山陽鐵道直通積荷物取扱所  
 山陽鐵道直積荷物取扱所  
 九州鐵道株式會社積荷物取扱所

社會ノ進運ニ伴ヒ交通ノ機關即チ文明ノ最大利器鐵道線ハ各地ニ延長スルニ隨ヒ本社ハ之ニ先チ全國ニ貳千有餘ヶ所ノ既設支店取引店ヲ有シ運送取扱上專ラ貨主ノ便益ヲ計リ特ニ大阪久留米ノ間ハ山陽九州連絡貨切扱ヲ以テ安貨速達ノ取扱可致ニ付發着手續々御托荷ノ程奉希望候也

久留米驛停車場前

金 銀 箔 鈔  
 繪 具 染 料  
 萬 籾 糶 糶  
 和 洋 諸 紙  
 歐 米 文 房 具  
 和 傘 并ニ原料

鹿兒島宗平

久留米市細工町

久留米名物

御進物用

トシテ箱詰種々アリマス

千歳まんぢう

特色

原料ノ精選風味ノ佳良ナルハ千歳饅頭ノ特色ナリ  
原料ヲ精選スルガ故ニ四時腐敗ノ患ナキハ千

歳饅頭ノ特色ナリ  
製造高ノ多キト價格ノ廉ナルハ千歳饅頭ノ特色ナリ  
故ニ四方ノ御得意様又ハ此ノ地ニ御來遊ノ御客様方ハ千歳ノ川ノ長  
キガ如ク末永々ト御購求御注文ノ程偏ニ奉願候

本舖 久留米市新町十七番地千歳饅頭

茶用御菓子商

本田榮壽堂謹白

六

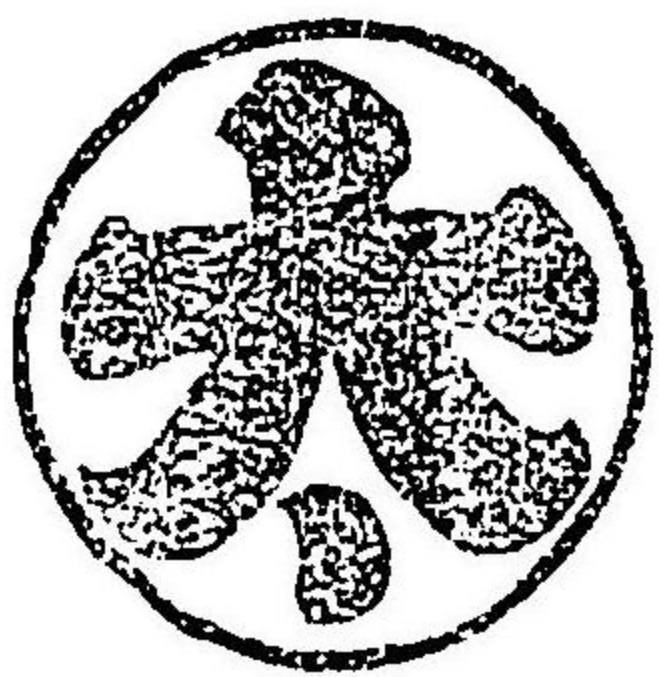
美術寫眞

久留米市小頭町一丁目

精美館事

淵上撮影部

七



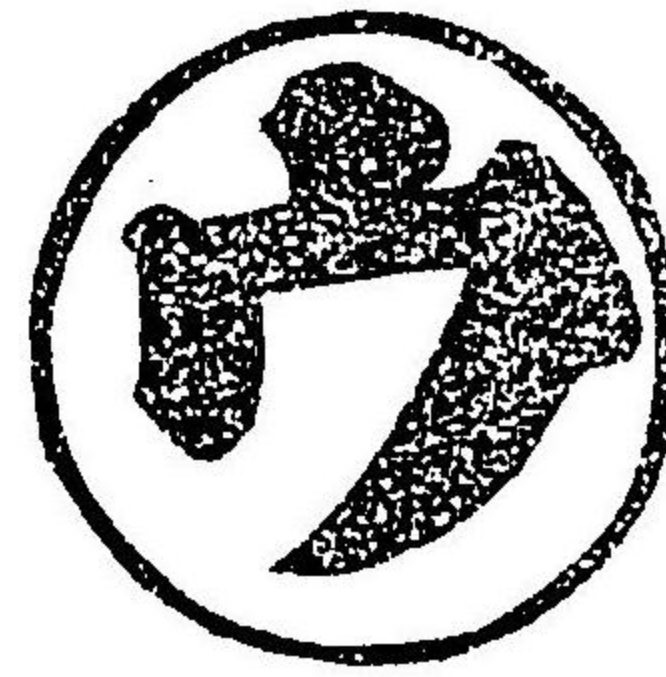
酢

久留米市小頭町一丁目水田屋事

淵上酢醸造部

國產  
本場久留米縞紵

製造元祖



久留米市字坂川町五丁目

別府卯平

八

和洋

會  
席  
御料理



久留米市米屋町

矢野伍平

九

和洋 紙文具商

并ニ諸官衙御用達

久留米市米屋町

井上商店

倉

三井郡國分村陸軍御用達部

井上支店

倉

〇

二

和洋 御料理仕立所

并ニ諸祝折詰一切

久留米市新町壹丁目

森崎須平

分

美術

# 寫真

久留米市櫛原町

佐藤寫真館

不變色引延シ等各種ノ寫

眞ヲ調製ス

三

# 寫真

術

寫

眞

久留米市京町二丁目

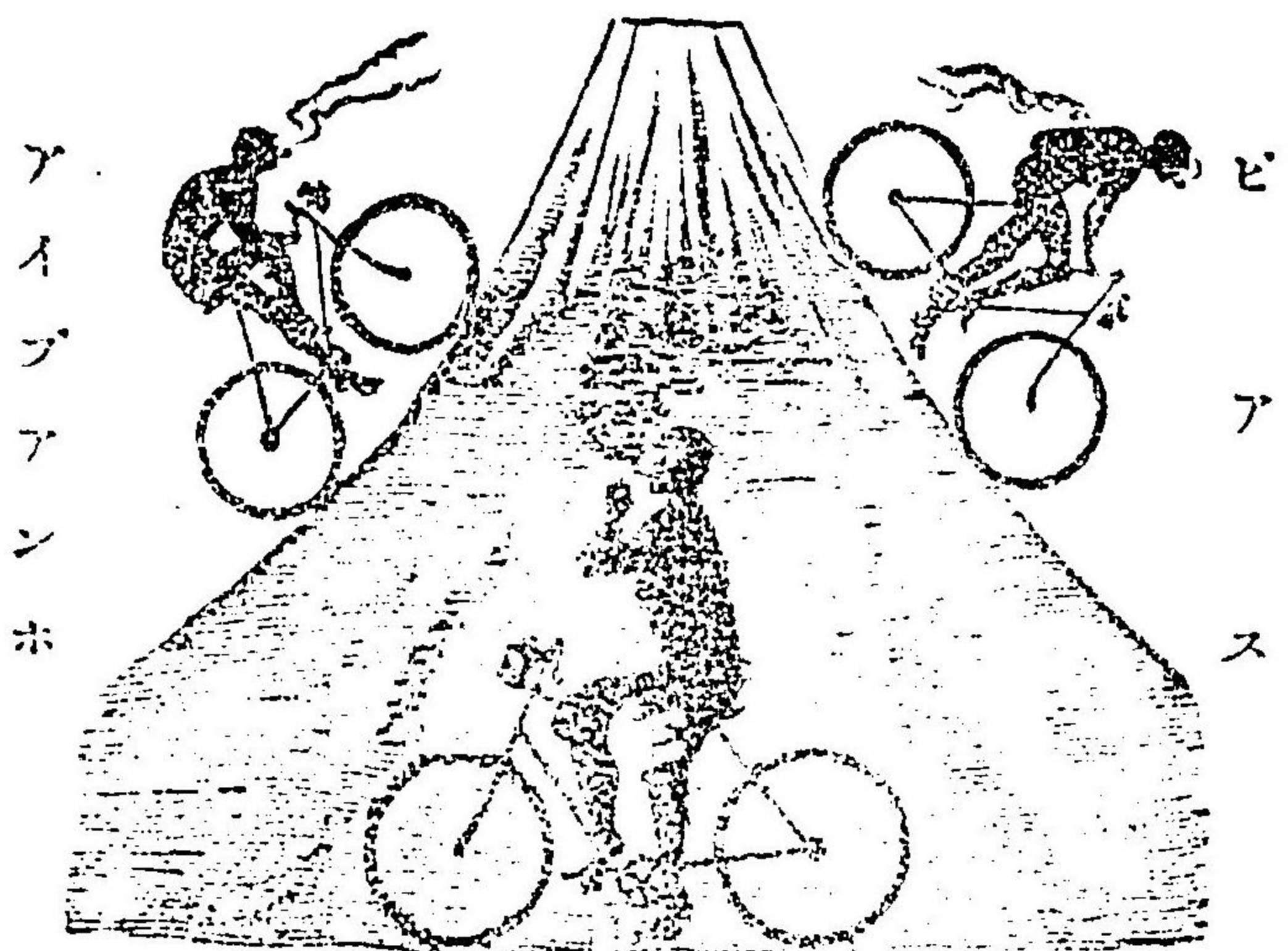
小柳寫真館

同市櫛原町一丁目西角

小柳支店

寫真館 巢城軒

三



アイブアンホ

**浅野自転車店**

久留米市新町三丁目

堅牢無比實用自転車  
 輕快競走用自転車  
 中古御徳川自転車  
 并ニ附屬品一切  
 右大勉強ヲ以テ販賣可仕  
 候間御注文被仰付度願  
 上候



全國瀛車瀛船貨物取扱店  
 山陽鐵道特約貨物取扱店

久留米驛

**筑後運送株式會社**

電信略號〇千

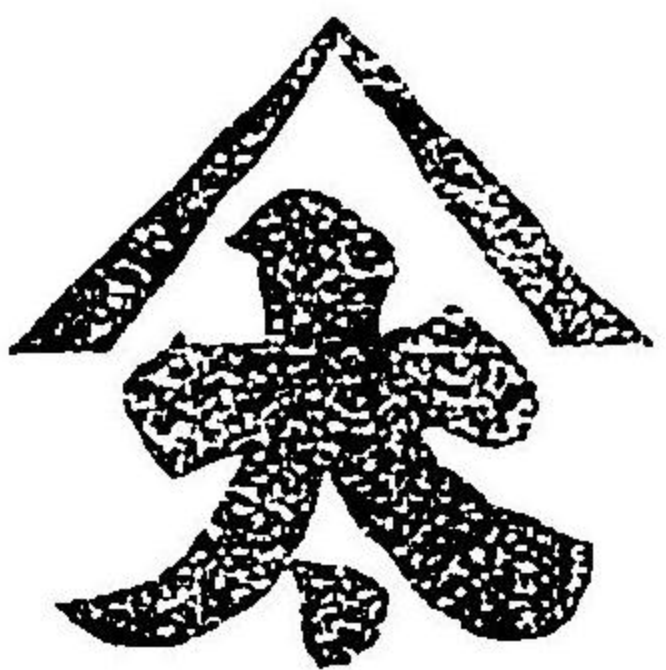
當會社資本金ハ壹万五千圓

# 海産問屋

并ニ魚類乾物商

久留米市魚屋町十九番地

山田屋事



氷室太助

電路(ヤマタ)

久留米市日吉町三番地

吉和齒科診察治療所

(紺屋町通り角)



海陸貨物取扱所  
明治二十二年十二月設立

九州鐵道久留米ステーション前

# 久留米運輸會社 本店

●門司支店 門司市湊町海岸

●博多支店 博多ステーション前

●代理店取引店ハ全線各驛ニ在リ

●山陽鐵道並ニ商船會社連絡貨物特約扱



## (一) 久留米案内

### 久留米案内目次

序

第一編 總覽

(一) 地勢 ..... 一

(二) 氣候 ..... 三

(三) 戶口 ..... 三

(四) 小史 ..... 四

第二編 名所故跡 ..... 五

(一) 縣社篠山神社 ..... 五

(二) 縣社水天宮 ..... 八

(三) 五穀神社 ..... 九

(四) 梅林寺 ..... 一〇

第三編 經濟

- (五)高山彦九郎先生の墓(遍照院)……………一
- (六)筑後川……………一三
- (七)高良山(神籠石、吉見嶽)……………一五
- (八)宮の陣神社(將軍梅、東宮殿下御手植松)……………二一
- (九)神社佛閣……………二二
- (一)農工商業別……………二六
- (二)久留米緋……………二八
- (三)久留米縞……………二九
- (四)傘……………三七
- (五)吹風琴……………三八
- (六)籃胎漆器……………三八

- (七)煙草……………三九
- (八)提灯……………三九
- (九)紡績……………四〇
- (十)盆栽及植木……………四〇
- (十一)水産物……………四〇
- (十二)年額一万圓以上の製産物……………四一
- (十三)運輸交通……………四二
- (甲)運輸交通機關……………四三
- (乙)本市と各著明地間の里程……………四四
- (十四)商業會社……………四六
- (十五)工業會社……………四八
- (十六)市場……………四八

(十七) 商業機關……………四九

(甲) 久留米商業會議所……………四九

(乙) 同業組合……………五〇

(丙) 久留米商報……………五一

第四編 社交機關……………五一

(一) 久留米俱樂部……………五一

(二) 集會堂……………五二

(三) 球突場……………五二

(四) 劇場……………五二

第五編 教育……………五三

(一) 普通教育……………五三

(二) 實業教育……………五四

(三) 社會教育……………五四

第六編 官衙及公所……………五四

第七編 旅人宿……………五五

附 錄

(一) 日向神山……………五七

(二) 靈巖寺……………五九

(三) 三井郡の部……………六〇

(四) 浮羽郡の部……………六二

(五) 八女郡の部……………六三

(六) 山門郡の部……………六五

(七) 三池郡の部……………六五

(八) 三湍郡の部……………六六

凡例

一本書は本市遊覧の資に供し四方旅客の便を圖らんが爲めに編輯する所なり

一本書中の記事は簡明を主とし只其要を摘むのみ、文体は平易ならんことをつとめられたれども編者固より不文なれば綴文滯滞を免れず讀者之れを恕せよ

一統計計數は勉て最近の調査に據りしも未だ調査の成らざるものは不得止舊に據れり

一忙中筆を執り推敲の餘暇なく加之固より淺識寡聞にして調査完全を告げず從て記事粗漏を免かれず讀者又之を恕せよ

明治三十五年三月

編者誌



淺野陽吉 共編  
武田令太郎

本市は福岡縣管下筑後の國に於ける第一の都市にして筑前、肥後、豊後、肥前、四ヶ國の中央に介在し東北及南方の一部は三井郡に接し西は千歳川の碧流を隔てし佐賀縣三養基郡及三藩郡に界し南方の一部も亦三藩郡に接す地形平坦にして沃野數十里の間に位し道路縱横に貫通し門司八代間の九州鐵道は停車場を京町に置きしより陸運

の便間然する所なく加ふるに筑後川の本市の西北部を繞り若津諸富の兩港を経て有明海に注くありて水運の利亦少しとせず位置は東經百三十度三十一分三十秒、北緯三十三度十九分三十秒にありて東西三十丁二十五間、南北二十三町四十間、面積二百八十八丁一反四畝八歩三合四勺五才の廣袤を有し東は三井郡國分村を隔て、遙かに金屏、良山の蒼翠に對し西北は則ち筑水の溶々たるを隔て、肥筑の廣野を一瞥の下に收め南方は三藩郡鳥飼の沃野に接し俗醇に人朴亦之れ縣下の一好區たり全市を分つて二十九町とす就中三本松町、通町、米屋町、細工町、苧扱川町等最も繁盛を極め車馬絡繹衣香繖影街衢に滿つ今其各町名を録せんか即ち左の如し

三本松町、通町、細工町、米屋町、魚屋町、庄島町、新町、紺屋

町、日吉町、篠山町、營川町、櫛原町、小頭町、片原町、吳服町、兩替町、苧扱川町、京町、鍛冶屋町、瀬ノ下町、通外町、南薰町、原古賀町、裏町、寺町、田町、今町、築島町、繩手町、

(二) 氣候

氣候は寒暑其宜しきに適し絶て酷熱嚴寒の人体を苦しむる無し今既往數年間の調査に依るも華氏九十七度を超ゆることなく四十一度より降ることなく一年の平均温度は六十九度内外なり

(三) 戶口

近時商工業の益繁盛なるに従ひ戶口亦次第に増殖して今や既に人口三万以上に達せり之を表示すれば左の如し

年 度	現住戸數	男	女	合 計
三十二年	五、〇二五 <sub>戸</sub>	一四、九一四 <sub>人</sub>	一五、二五〇 <sub>人</sub>	三〇、一六四 <sub>人</sub>
三十一年	四、八一九	一四、一二一	一四、五〇五	二八、六二六
三十年	四、六四五	一二、五九三	一二、六七六	二五、二六九

(四) 小史

我久留米は紀元二千二百四十六年 人皇第百五代正親町天皇天正十五年豊臣秀吉之を毛利秀包に賜ひ慶長五年毛利氏其封を失ひ同年田中吉政本國に封せられ三子主膳正を以て當城を守らしむ田中氏亡びて松倉豊後守、竹中采女正等城監たり元和七年本國八郡の地を有馬豊氏公に賜はりて久留米に治す爾來二百五十餘年を経て明治四年に至り廢藩置縣の令ありしを以て縣廳を本市に置き久留米柳河の二藩

を合せて三藩縣と稱せしが明治九年三藩縣を廢し福岡縣に併せられたり明治二十二年市制を布さしより商工業大に發達し以て今日の盛況を見るに至れり

第二編 名所故跡

(一) 縣社篠山神社

停車場より北八丁

篠山神社は篠山城の城跡にして筑紫二郎の碧流に俯し金屏の飛翠を受け四境清閑にして春は嬌櫻の爛熳たるあり夏は涼風の颯々たるあり秋月冬雪亦吟人の幽懷を慰するに足るもの多し故を以て參拜の傍杖を此地に曳くもの四時絶ゆることなし毎年春秋二季神社の祭典を擧ぐ煙花あり競馬あり市内一般戸毎に祭宴を張り非常の盛況を呈す

篠山の八景として傳へらるゝもの左の如し

- 一 東野春霞
- 二 紫川煙雨
- 三 耳納秋月
- 四 江南晚鐘
- 五 楓岡紅葉
- 六 背振暮雪
- 七 古城老松
- 八 柳原曉蓮

篠山城は初め永正年間土豪等の築く所の城壁にして當時此一帶の地茫々たる篠原なりしにより篠山城と稱せり大永年間豊後大友氏の部

將豊饒鎮連之に據り天文申御井の土豪再築を施し天正中高良山の座主丹波良寛其弟麟圭を以て城主とす天正十五年豊大閔之を毛利秀包に賜ひ降りて元和八年有馬豊氏公に賜ひたり時に境域猶狹隘東面の一孤城なるを以て改めて南面とし境地を擴め樓櫓滄池を深高にし益規模を壯大にせられ爾來二百五十餘年を経て廢藩の際陸軍省の管轄に歸し明治七年城遂に廢城となれり同十一年國民有馬氏の舊恩を追慕し城趾に就きて一の神殿を創建し以て同氏累代の靈を祭れり之れ同社の今日ある所以なり城内に西海忠士之碑あり

篠山懷古

有馬頼萬公

紫水人如繪

篠山櫻柳新

風光坐懷古

偶見故郷春

古城老松

船曳鐵門

さゝ山のたのへの松はふひなから

全

今も古城のあこぞ守れる

廣瀬曲巷

城趾老松盤九旻

龍拏虎攫貝精神

翠葢重々清陰下

歲寒應出後凋人

江南晚鐘

三原桐陰

夏雲昨日欲奇峯

忽見霜林綿繡重

老來頻下悲秋淚

堪聽江南山寺鐘

全

武田殿雄

起き出よと曉はやくつく鐘を

よにふる寺のものこやはきく

(二) 縣社水天宮

停車場より西四丁

久留米水天宮といへば天下知らざる人殆んど無かるべし社は瀬の下町に在り傳へ云ふ社は建禮門院平時子を祭る所にして人心歸向の神

祠たり毎年舊曆四月五六七の三日を以て祭典を行ふ其際東より西より南より北より來り賽するもの日に數万を下らず神殿は筑水の澁にありて風光頗る妙に眼下江流の溶々たるを隔てし長門石の平原火洲の諸山を一望の下に收め漁艇商舶の脚底に去來するを拾ふべし若し夫れ夏陰月清きの時一たび來りて此の境に遊ばんか人をして自から快豁の念を感せしむ

水天宮

坂谷 剛 廬

寒空落日筑川東、

雪霽平郊渺茫中、

數點瓊樓銀嶺上、

水天宮映玉垂宮、

(三) 五穀神社

停車場より東二十丁

同社は通外町に在り寛延年間舊藩八郡の人民國老稻次因幡の功績を追慕して創建せし所なりしも今や神殿壞敗して昔時の盛觀なく只東



郊の煙色人を樂ましむるあるのみ然るに近時此に大神宮の神殿を淨  
建し境地を擴め傍ら公園となさんとするの計畫既に成り其工を起す  
の曉に至らば本市の東端更に一の名勝を加ゆといふべし此地古來蓮  
花に名あり

過久留米

廣瀬淡窓

遊人下馬弔孤忠、五穀祠開市陌東、官道盡露清樾露、  
旅衣秋冷亂荷風、江於桑城稱三大、邦興榮藩抗兩雄、  
行到長堤將解纜、回頭却拜水天宮、

(四) 梅林寺

停車場より西北二丁

梅林寺は京町に在り即ち古の所謂る京の隈なり抑京の隈の名は古昔  
人あり經卷を此地に埋む人呼んで經の隈といふ後世遂に轉して京の  
隈となりしなり寺は禪僧禹門の開基にして元と丹波福智山に創建し

瑞嚴寺といふ元和七年此地に移して今稱に改む憲囑、羅山、無學等  
の名僧之に住し有馬家累代の墳墓の地にして風概比なく高く巖角の  
上に立ち下は紫江の水常に涓々として絶へず旅舶漁艇ノとして往  
來し眸を放ては肥筑の連山淡靄の中に聳へ喚は答んと欲す境内は亭  
々たる老杉古松の天を摩するもの幾百株、蒼翠衣襟に滴らんとす試  
みに巖頭に立ちて一嘯すれば清風徐るに輕衫を拂ふて胸襟清絶羽化  
登仙の想あらしむ河に瀕して一茶亭あり遊人の憩ふに供す酒あり茶  
あり以て吟魂を慰むるに足る他郷の旅客久留米に来るもの往て訪は  
ざるなし帽影節光常に堪へず實に市内唯一の勝地たり

(五) 高山彦九郎先生の墓

停車場より東十四丁

(遍照院)

高山彦九郎正之先生は上野國新田郡細谷村の人夙に勤王の大義を唱へ天下に遊説し我藩に來り身を藩士の家に寄す先生何の感ずる所か寛政五年六月二十七日藩士森嘉膳の家に屠復して命を絶つ後安藝竹原の人唐崎常陸介其墓下に自及したりと云ふ

先生の墓は寺<sup>所</sup>遍照院にあり其初め斷烟蓬草の間にありて纔に一片の碑石を建てし其標とし其義魂を弔し徒らに世人をして斷腸の思あらしめしが市の有志之れを慨して近年一大碑を建立し境内を擴張せり聊か以て先生の靈を慰むるに足らんか明治四年先生の爲めに三井郡山川村に一社を興し御楯社と號し明治維新の際王事に斃れたる人々の靈を合祀し毎年十月廿日を以て其祭典を行へり

高山儀助來展其考墳墓、留全家一句、

監歸潛然賦贈

樺島石梁

悲哉豪傑士、化作他鄉塵、山海三千里、  
 星霜十一春、憐君來拜墓、令我重沾巾、  
 孝道期終始、殷勤愛此身、

(六) 筑後川

筑後川は乃是九州第一の大河なり一名は千歲河或は一夜河の稱あり後、筑間川と稱せしを有馬氏入封の後徳川幕府に請ひて其許を得爾來筑後川と稱す實に寛永十五年八月六日なり此河は水源二あり一は肥後國阿蘇郡小國に發し一は豊後國直入郡大船山に出て相會して一となり浮羽三井久留米三瀧の一市三郡を経て海に入る長さ三十五里餘、上流は契流激湍にして舟筏通せず豊後日田郡以西運漕の便あり

幅上流五十間、中流百間、其下流に至りては實に二百〇八間二尺あり依りて以て世人に水運の利を與ふる幾許ぞや

下筑後河過菊地正觀公暇處感而有作

賴山陽

文政之元年十一月。吾下筑氷嵐舟筏。水流如箭万雷吼。過之使人  
堅毛髮。居民何記正平際。行客長思己亥歲。當時國賊檀鴟張。七道  
望風助豺狼。勤王諸將前後沒。西陲僅存臣武光。遺詔哀痛猶在耳。  
擁護龍種同生死。大舉來犯彼何人。誓剪滅之報天子。河亂軍聲代  
銜枚。刀戟相摩八千師。馬傷胃破氣益奮。斬敵取胃奪馬騎。被箭如  
蝟目皆裂。六万賊軍終挫折。歸來河水笑洗刀。血迸奔湍噴紅雪。四  
世全節唯餘侶。九國遠巡征西府。棟蓼未聞向北風。殉國劍傳自乃  
父。嘗卻明使壯本朝。豈與恭獻同日語。丈夫要貴知順逆。小貳大友  
何狗鼠。河流滔々去不還。遙望肥嶺巒南隄。千歲姦黨骨亦朽。獨有

苦節傳芳芬。聊弔冤魂歌長句。猶覺河聲激餘怒。

千年川

光明峰寺攝政

君が爲め限りもあらし千年川

井堰の浪の幾めぐりこも

(七) 高良山

停車場より一里半

(神籠石、吉見嶽)

高良山は三井郡府中町の上にあり一名は高牟禮山と稱し又不滯山と  
も言ふ山上に玉垂神社ありて武内宿禰公を祭る國幣中社にして毎年  
陰曆九月九日を以て祭典を行ふ其賽人の夥しきこと水天宮と伯仲す  
高良神社より愛宕山に至る山中に神籠石と稱するあり神社の後阜よ  
り起り周廻十餘町石疊を廻らし其構造の嚴然たること神代の山陵に  
類す或は曰ふ 天彦火々出見尊の御陵ならんと今や現に其筋に上申

中なれば日ならずして其眞偽判然たるものあらん  
 抑も當山は東金屏山に連り西南北の三面は肥筑の山川廣原に臨み頗  
 る要害の地と稱す故を以て古來英雄豪傑の九州に事あるもの多くは  
 據りて以て根據となさざるはなし 景行天皇十八年天皇當山の行宮  
 に入御あり 繼體天皇二十一年筑紫の國造磐井叛して此に據りたれ  
 ども遂に亡び南北騷擾の際に及び征西將軍懷良親王菊池の一族を率  
 ひて屢此に陣し給ひ文中三年足利義滿の九州に下るや菊池武政父子  
 之れに據る天正十二年高橋紹雲大友の爲めに兵を出し當山に陣し後  
 藤家信筑紫廣門等と戦ひ之を十三部(杉馬場)又祇園原(篠山町)に破  
 る同十四年六月島津氏九州を併呑せんと欲し兵を肥筑に出し其部將  
 伊集院忠棟をして當山に陳せしむ同十五年四月豊臣秀吉の薩州を征

する亦當山の支峰吉見嶽に陣す吉見嶽なるものは當山の西北に突出  
 し四望甚だ空豁にして公宿陣の遺跡今に現存す抑も當山に奉祀する  
 所の玉垂宮は古來僧徒の司る所にして座主と稱せしが明治四年神佛  
 清別の令ありてより僧徒を廢し専ら神官に任じ以て今日に至れり往  
 時の座主寂源僧正が時の朝廷に乞ひ親王、諸公卿、門主の詩歌を得  
 て其十景に一層の光彩を添へたるも即左の如し

竹樓春望

妙法親王 幾 恕

竹樓百尺傍青穹

萬里山川目力窮

柳色淡濃花遶近

一望無處春風

近衛左大臣基 燕

樓の上は春こそ殊に吳竹の

世のつれならすかすみ海山

吉見満花

轉法輪大納言實道

一嶽峻嶒幾九天

櫻花四發更媚娟

徑移吉野漆春色

壓倒華山玉井邊

菊亭大將公規 今出川内大臣

あがすみん吉見の嶽の花さかり

わけてこさなる春の色香か

御手洗登

柳原大納言資行

玉垂在昔監斯水

神迹流芳橋上名

御手洗餘滴疑散

凝光矜照作宵行

日野大納言弘資

くるゝ夜は登すゝしく川風に

亂れ橋てふ名もくちすして

朝妻清泉

高辻大納言豊長

朝妻風景盡新奇

松緑杉青伴四時

通出清泉林岳下

靈蹤雄地惣相立

青天秋月 愛宕齋

花山院大納言定誠

寺稱青天青嶂頭

高低一望點埃收

啼猿樹上深秋月

特照行人萬里愁

中院大納言通茂

寺の名は月にもしれて秋風や

藍より青き空にすむらん

中谷紅葉

柳原待從 秀光

青女染成日夜功

滿山無處不霜風

疑將瀑布千尋白

變作秋稍一様紅

日野中納言資成

秋を知る色も見えけり松竹は

さきわの中の谷のもみぢ葉

不瀟山霞

伏原小納言宜幸

朔風吹散不濡山 幾變浮雲頃刻間 應是紫陽奇絕處  
乍晴乍雨轉清閑

鷲尾素雪 東國宰相基量

勝處從來名國傳 時添景物更應憐 何人詩思搖銀海

鷲尾峰頭雪後天 烏丸大納言光雄

つもりそふ雪の日かすをつみあけて

いさ、上みん鷲の尾の峯

高隆晚鐘 勘解由小路待從韶光

樹老徑荒煙水清 高隆遺跡昔年名 唯今猶有鐘樓在

空出黄昏三兩聲

玉垂古松 竹門主法親王良尙

瑞玉垂傳古廟宮 威靈如在至今同 老松風波起神曲

盛德遺音臚仰中

白川二位雅高

年高き松や知る人玉垂の

宮居久しき昔かたりも

(八) 宮ノ陣神社 停車場より一里十丁

(將軍梅、東宮殿下御手植松)

社は三井郡宮の陣村にあり西征將軍懷良親王の御陣所の迹にして士民其徳を慕ひ神祠を建て其靈を奉祀せし所なり境内に將軍手植の梅あり老幹槎枒として坐るに當時を追懷せしめ人をして低徊願望去る能はざらしむ又三十三年十月 皇太子殿下の久留米に鶴駕を駐めさせ給ひし時同社に行啓遊ばされ親しく一株の松を御手植あらせらる其松と梅と併せて千萬年の後に至るまで三井郡の一角に大光輝を加



心光寺	東德寺	妙美寺	宗安寺	少林寺	法雲寺	正蓮寺	寂光寺	德雲寺	誓行寺	露妙寺	妙正寺	西方寺	西福寺
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

淨土宗	臨濟宗	日蓮宗	淨土宗	臨濟宗	眞宗	眞宗	日蓮宗	臨濟宗	眞宗	日蓮宗	日蓮宗	淨土宗	眞宗
-----	-----	-----	-----	-----	----	----	-----	-----	----	-----	-----	-----	----

寺町	南董町	寺町	寺町	寺町	庄島町	瀬ノ下町	寺町	寺町	寺町	京町	寺町	寺町	芋扱川町
----	-----	----	----	----	-----	------	----	----	----	----	----	----	------

妙蓮寺	順光寺	日輪寺	眞教寺	無量寺	法泉寺	本泰寺	醫王寺	圓乘寺	梅林寺	善福寺	遍照院	四岸寺
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

眞宗	眞宗	臨濟宗	眞言宗	淨土宗	臨濟宗	日蓮宗	眞言宗	眞言宗	臨濟宗	淨土宗	眞言宗	淨土宗
----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

寺町	日吉町	京町	寺町	芋扱川町	京町	寺町	寺町	瀬ノ下町	京町	寺町	寺町	瀬ノ下町
----	-----	----	----	------	----	----	----	------	----	----	----	------

乙佛閣



千榮寺	曹洞宗	寺町
正覺寺	曹洞宗	寺町
妙泉寺	眞宗	米屋町
本正寺	眞宗	庄島町

第三編 經濟

本市は肥筑大平原の中央に位し一歳最低の温度華氏の四十一度に過ぎず氣候温和 萬種の植物、殆んど天地自然の化育に適せざるなく、眞に世界の樂土にして經濟上自然の恩惠を蒙る實に大なり

市の東北一帯三井浮羽の二郡、又市の東南三階八女一帯の地廣袤數十里筑水を隔て、肥前の平野に接し肥田沃野、米麥を産し又藍藺を産し春は麥浪天に接し秋は黃稻殆んど際涯を知らず榎葉別に紅繡を

織り諸種の農作物殆んど産せざるなし剩へ住民皆勤勉、農隙の際或は榎實を摘み、或は茶を製し、或は花筵を織り、或は緋縞を織り以て舊筑後八郡の緋縞を産出し、以て八女浮羽の茶を産出し、以て三階三池八女山門の花筵を産出す是れ乃ち本市の四周なり更に四周の都會を見れば三井郡に北野御井町あり、浮羽郡に吉井田主丸あり、八女郡に黒木福島あり三階に大川城島あり若津港は以て本市の海口たるべく城島の酒は以て伊丹灘を壓するに足る

是等の生産地を四周とし是等各地の要所を前後左右に控へ其中心に位するもの乃ち是れ本市なり、從て本市は自ら其各種産物の集散市場にして其中心市場たり、又更に運輸交通の機關を見れば九州第一の大河たる筑後川は本市の西部を擁して若津港に出て以て本市と海

運どの便を開き九州鐵道は本市に與ふるに四通八達の至便を以てせり本市が肥筑大平原の中心商業地たるは是れ自然の勢なり、南筑一帶の絳縞は言ふまでもなく佐賀縣内一部の國産物も本市に依りて集散す、木蠟亦然り、米穀亦然り、日田地方の木材又亦然り之れを以て本市は常に四圍の諸産物を吸収し之れを四方に散し産業亦内に興り日に月に盛況を呈せり  
今本市産業の大要を記すれば左の如し

(一) 農工商業別

(明治三十二年)

業別	業別		合計
	男	女	
居商	三、六九四	三、六九〇	七、三八四
行商	一、五二七	一、五九九	三、一二六

工業	一、四〇二	一、三五七	二、七五九
農業	一五四	一五三	三〇七

(二) 久留米絳

久留米絳は天明年間久留米通外町に住したる井上デン女の發明する所にして爾來其機業は漸次各地に傳はりしも技拙劣にして産額も亦隨て僅少なりしが降て慶應年間に至り世間一般の需用増加せしより供給亦増加し南筑一市各郡首も女子ある家は機杼の聲を聞かざる所なきに至れり然れども當時は織替と稱し職工は自己の織り成したるものを仲買人又は商店にて糸綿及金錢と交易し染方より布となすまで委く自製する所なりしが明治維新の際仲買商、販賣商相謀り粗製濫造の弊を矯正せんが爲めに申合規約を立て製品を改良せんと

せしも其方法不完全にして終に効を奏する能はず同十年西南搔亂の際軍人、軍屬相争ふて精粗を撰ばず購求せしより奸商忽ち唐糸と稱する洋糸に薬品を加へ以て不正の染方をなし之を販賣し眼前の非利を僥倖せしにより終に世上一般久留米緋の不正品たるを批評するに至り甚しきに至りては俗謠を作りて之を誹るに至る是を以て俄然信用を失し積年の弊價を落し一時は痛く販路の澁滯を來せり依て同十三年當業者大に之を憂ひ奮起誓て之を挽回せんことを圖り加ふるに其筋の奨勵せらるゝより遂に協同團結改良矯正の策を講し從來の個人織立主義を廢し原糸は内地の紡績糸を用ひ染料は地藍、阿州藍等の青藍の外使用することを嚴禁し丈尺幅を定め染色家、機業家は緋の地拵をなし織工は單に織立つるのみにて織賃を拂ふこととせり且

つ同業者は進んで綠藍組なるものを設け仲買、販賣商は千年社なるものを起し三種の章標即ち染元、織元、販賣元の精製を證する爲め之を貼用し終に其目的を達し從來の非運を恢復するを得たり然るに綠藍、千年の二社を兩立せしむるは頗る不利益多きを發見し同十九年兩者合同を遂げ始めて久留米緋同業組合の設立を見るに至れり官亦組合準則を發布せられたれば一市八郡此業に従事するものは皆此の規約を遵奉せしめ業務監査人及び職工取締人を置き組合區域を常に巡回視察し且つ同業者の定款を履行するや否やをも査察せしめ大に本業の發達を計れり同廿五年本縣重要物産取締規則の内に編入され更に定款を改正したるを以て組合の基礎愈確立し爾來撓まず進歩發達を圖り印度藍の使用を嚴禁し製品褪色の憂なきを期せり同三十

一年金三千圓を投じて發明者デン女の紀念碑を事務所内に設立して其功に酬ひたり同三十二年法律三十五號の發布により組合の組織を改めたり近時に至り各所に鑑定所を開設し益改良を謀れり

## 井上傳女の碑文左の如し

井上傳子久留米市通外町人自幼慧穎好女工凡紡績裁縫之事不仰師而自能之年甫十二三最耽意于機業欲發明一新式資國利居常意匠慘憺至廢寢食一旦有所悟乃試束糸大如指長數十尺節々拾紮之狀如百足虫而浸之藍液泌染之後解紮淨洫移之機經之緯之終日七袞始得一反之綿布々面紺色光白紋鮮明雪飛霞翫奇觀驚人目大投時好世稱之日雪降又霞織都鄙爭購聲價頓最近鄉婦女于來請傳習者陸續屬集年方四十前後受業而營業者四百餘人之多於是乎嚮之所謂雪降霞織者合稱之日阿傳加壽利是爲久留米耕之權輿矣今也距此時僅々五六十年耳

而久留米耕一年盛於一年閱物產統計表明治二十年筑後全國之所出八十万反價格百五十万圓工女五万人販賣營業者千五百人既往發達之速已如此則前途之事亦可知矣然而究其所由來則出于一女于纖腕之力豈得不感哉傳子以天明八年十二月二十九日生以明治二年四月二十六日歿享年八十有二法諡曰釋尼聞忍信士墓在寺町德恩寺初嫁井上次八生二男一女遺存現存繼其家者曰井上久吉明治十七年九州沖繩八縣聯合共進會官追賞其功勞賜金若干可謂死而有餘榮矣抑傳子一婦人耳尙其精神一到刻苦研精之力能施惠於天下後世如期其偉矣况乎鬚髯男子而生文明日新之世者苟聞傳子之風者豈可不感奮而興起哉頃日從事斯業者相議爲傳子諱不朽將釀金建紀念碑追遠報本之意可謂厚矣偶來請文於余余素慕傳子傳功又贊此美譽爲其梗概係之以辭々曰

波彼織女

降誕異人

天資靈慧

智功絕倫

遺澤潤國 民業爲振 恩及枯骨 實命維新  
 後人報德 鏡此貞珉 美名千歲 磨而不磷  
 明治三十一年三月 久留米 後藤藤藏 撰  
 全 廣瀬曲巷先生閱

久留米緋同業組合の調査によれば最近の産額左の如し

年次	項目	産額	價額
三十年十月より 三十二年九月まで		七八八、八七八	一五七七、七五六
三十一年十月より 三十三年九月まで		六四四、六〇二	一二〇七、二〇四
三十二年十月より 三十三年九月まで		八三一、九五〇	一六六三、九〇〇

(三三) 久留米縞

久留米縞織業は明治九年小川とく(生存者)なるもの本市に於て長機を以て綿織物を始め僅かに一己の業を營み側ら男女生を集め訓練したるを以て起原とす爾來傳習生の修熟するに隨ひ同十一年本市芋坂川町所在の者手織縞と稱し綿織緋縞を製出し世上の好評を得漸次色糸を配合し柄合等の意匠に注意を加え十三年頃始めて販路を他地方に得連年織業者の増殖するに隨ひ同十七八年頃には五六万反を製出するに至り其後廿二三年頃には殆んど拾万反以上の製出高に及びたり斯の如く事業の發達するに隨ひ稍租製濫造の弊を生じたり因て有志者は東奔西走此弊を矯正し進んで事業を改良せんことを企圖し屢々同業者を集合し協議の末同廿四年緋組合の中に更に縞改良會なるものを設置し會員の申合せ規則を制定し始めて縞業の取締及

改良の方法を實施せり是即ち縞業獨立の組織を促したる原因なり是より粗製濫造の弊を改め年々其製出高増進し廿五年に於ては已に拾六万反に達し廿六年五月に緋組合より分離し別に縞組合を組織し始めて純粹なる縞組合の取締及改良の方法を實行したり同年十月組合員の出資を以て色染講習所を設置し(現今一貫二百目の糸平均廿四五把を染出せり)從來の染法を廢し組合員の使用する色染糸は悉皆當所より染渡すことに改めたり尙一層染法改良の研究に力を盡し居れり隨て廿八年は已に卅万五千九百八十四反の製出高に及べり斯の如き進歩を看るは實に明治廿二三年頃より當業者が熱心改良發達を企圖し廿四年一致團結を爲し縞改良會を設置し益獨立の精神を發揚し進んで廿六年組合を組織したる等の結果と思量せらる同業は將來益隆盛に赴くの傾あり

縞組合事務所の調査に據りて明治三十年以降の同組合産額を見れば左の如し

年次	産額	價額
三十年	三三八、一二九 <small>反</small>	三二七、九九五、二三〇 <small>圓</small>
三十一年	三二三、六八三	三一五、五一六、一八〇
三十二年	二五五、九一〇	三〇一、九六四、八〇〇
三十三年	二四二、六八〇	三二四、二七〇、六〇〇
三十四年	二四八、〇〇七	三一六、七〇四、九三〇

(四) 傘

傘も亦本市名産の一にして其名四方に聞ゆ近時本市を中心として三井、浮羽、八女、三潞の一市四郡の同業者相會し一の同業組合を設置せんとし創立を其筋に出願せり今一市四郡の最近製造高を見るに

左の如し

年次	産額	價格
三十一年	九五六、三六八	一七七、六四〇、〇七七
三十二年	九六一、二二二	一八一、三八九、〇五九
三十三年	九九〇、九五三	一八六、九九九、〇三〇

(五) 吹風琴

吹風琴は數年前本市螢川町平岡藤助氏の發明する所にして近時愈盛大に趣き本市の製造販賣高年額拾萬圓以上に達し各所に輸出せり殊に昨年以來支那朝鮮等に輸出し頗る好評を博せり同器は一見單簡にして奇とする所なきが如しと雖も試みに之を把りて一吹すれば音響劉亮として美妙愛すべく他の復雜の樂器も却て遜色あるを覺ふ

(六) 籃胎漆器

籃胎漆器は竹を編みて種々の器具を製し施すに漆を以てしたるものにして堅固能く久しきに堪へ氣品高尚にして紳縉の愛顧を得るに足る産額は猶未だ多きに達せずと雖も本市の美術品として大に江湖雅客の賞賛を博せり

(七) 煙草

本市の煙草は千歳煙草と稱せられ販路頗る廣し一年間の産額は五萬圓を下らず

(八) 提灯

提灯の産額は現今二千圓餘にして未だ以て本市の重要物産とするに足らずと雖も其製作は頗る精巧にして岐阜提灯に匹敵するに足るものあり

(九) 紡績

本市には九州紡績株式會社の分工場ありて綿糸を製造す錘數一万四千七百六十にして職工凡そ千二百人餘を使用す二三年前迄は久留米紡績株式會社なりしか三池紡績株式會社及熊本紡績株式會社と三會社合併の後九州紡績株式會社と改稱し大牟田を本社とし久留米は熊本と共に其分工場となり綿糸の紡績を經營せり

(十) 盆栽及植木

本市及附近の地味氣候植物に適せるより本市は九州の本場となり熊本佐賀長崎其他各地に植木及盆栽の輸出日を追ふて増加せり

(十一) 水産物

本市は西に千歳の大河を控ふるより魚類の市場に上るもの尠からず

就中鯉、鮒、鮎、鰻、鼈等は當地の名産にして賞味せらる

(十二年額一萬圓以上の製産物) (三十二年)

品名	産額	價額
緋	五、四〇〇反	一〇五、三七〇、〇〇〇 <sup>甲</sup>
綿	二、三五、九一〇反	三〇一、九六四、八〇〇
紡績綿糸	三、二六四、九〇〇斤	一〇七七、四一七、〇〇〇
煙草	—	五、一三二〇、〇〇〇
醫油	二、四〇三石	二〇、六七〇、〇〇〇
仕立物	—	九三、六二五、〇〇〇
枡物	—	一七、五五五、六〇〇
元結	—	一、二二〇、〇〇〇
蒲鉾	—	二、三、四八四、六〇〇
傘	一、六九、八七一本	三五、六七二、九二〇



葉	量	酒	紺	蠟	種	履	鉄
	衡						
子	筭	器	紙	燭	油	物	
	一、六二〇棹		八一五石		七二、〇〇〇斤	三三〇石	
							一八、五一八、〇〇〇
							二五、九〇〇、〇〇〇
							一三、二〇〇、〇〇〇
							一一、二四〇、〇〇〇
							一三、九二〇、〇〇〇
							二二、〇〇五、〇〇〇
							一一、四五七、〇〇〇
							一六、二〇〇、〇〇〇
							一一五、八二五、九五〇

(十三) 運輸交通

我市古昔一村落として筑後の西北部筑後川の東岸に孤立せし當時は今の洗町の地にして僅かに御井町に通ずる街道と御井町より南進す

る薩州往來及び北向態代渡より筑前に通ずる街道によりて諸地方の連絡をなし居たりしも水運に便なる大河を控へたると廣漠無限の沃野を廻らしたる地勢とにより各地往來の中心點となり茲に一の市場を現出するに至り道路も次第に従横に開通し（参考の爲め市内官有道路延長を記せば國道四丁五十三間、縣道一里二十六町四十一間五尺四寸、里道八里二十三町五十二間三尺）且門司八代間に貫通する鐵道は市を横斷し陸運の便頻に開け、水運も亦瀬の下港輕便濱其他二三の荷揚げ場を有し下流若津諸富の諸港に通じ今や四通八達貨物の集散點となり九州の要衝を占め商工業は日進月歩の盛況を呈するに至れり、今本市運輸交通の概要を記すれば左の如し

(甲) 運輸交通機關

本市運輸交通の機關として擧ぐべきは(第一)鐵道、(第二)筑後川、(第三)車馬是れなり筑後川は上は豊後の日田地方と本市との聯絡を付け下は若津に至りて海運の便を開ける機關にして本市の同川に貨物を積卸積揚を爲せる主要なる場所は(一)洗町河岸、(二)篠山河岸(三)瀬ノ下河岸、(四)京町輕便濱等なり、又馬車は本市と八女郡福島町間、本市と三井郡北野町間、本市と浮羽郡田主丸吉井及豊後日田間を往復せり又前年來本市と田主丸吉井間に馬車鐵道の計劃あり今や機既に熟せり本市の輸出入は三十二年に於て輸入七百五十四万三千八百二圓十四錢六厘にして輸出は七百四十七万三百八十六圓九十錢三厘なり

(乙)本市と各著名地間の里程

地名	陸路里程	流車里程
肥後 熊本	十八里十九町四十二間	五十一哩四十鎖
全 山鹿	植木より四里二十七町五十二間 福島より十一里二十三町四十間	楠木まで 四十三哩六十鎖
肥前 佐賀	田代を経て十里六町二十間五尺 直路七里十八町三十七間二尺	十九哩三十鎖
全 長崎	四十一里二十六町四十八間五尺	五十七哩四十九鎖
全 田代	二里七町二十五間八寸	五哩二十鎖
豊後 日田	十一里二十四町五十六間	—
豊前 小倉	二十三里七町三十間二尺	六十二哩四十一鎖
全 門司	—	六十九哩七十一鎖
全 中津	日田を経て二十四里三十五町四十八間三尺 山鹿を経て三十六里二十五町五十六間	九十三哩十四鎖
筑前 二日市	六里二町四間五尺	十三哩三十鎖
全 甘木	二日市より四里二十六町四十一間五尺 六里十一町十九間	—
全 福岡	元標迄 田代を経て十里九町五間五尺四寸 松崎を経て十里十三町五十八間二尺	博多まで 二十二哩四十鎖

全	松崎	三里十町四十三間三尺			
全	御井町	二十九町四十二間			
全	上ノ町	二里十一間一尺五寸			
全	大幸田	九里三十一間			二十哩四十鎖
全	若津	矢部川より三里二十九町十三間二尺 五里二十四町三十五間			
全	柳河	矢部川より二里一町三十四間四尺 五里五町十四間三尺			
全	瀬高	矢部川より十九町三十一間三尺 五里三十五町二十五間			矢部川まで 十一哩十鎖
全	福島	羽犬塚より一里三十四町一間 三里六町二十八間三尺			
全	羽犬塚	三里十五町五十五間六寸			七哩四十鎖
全	田主丸	四里二十四町十九間			
筑后	吉井	六里十六町五十六間			
筑前	若松	二十四里三十三町五十七間			五十八哩六十五鎖

(十四) 商業會社

名	稱	營業種別	所在地	拂込資本
株式會社	六十一銀行	銀行	片原町 一八	六九七、八四、〇〇〇
筑豊興業	銀行	全	榑原町 六七	一〇、〇〇〇、〇〇〇
莊烏貸金	合資會社	金錢貸附	莊烏町 二〇	三五、〇〇〇、〇〇〇
株式會社	融通銀行	銀行	日吉町 六四	二五、〇〇〇、〇〇〇
久留米運輸	合資會社	運輸	京町 八四	二〇、〇〇〇、〇〇〇
株式會社	城内銀行	銀行	全 八五	一一、六二五、〇〇〇
山本運輸	合資會社	運輸	全 一七	一一、〇〇〇、〇〇〇
久留米魚市	株式會社	魚類競商	魚屋町 一一	二、二五〇、〇〇〇
株式會社	久留米貯蓄銀行	銀行	片原町 一八	七、五〇〇、〇〇〇
久留米氷室	合資會社	凍冰販賣	京町 五七	五、〇〇〇、〇〇〇
筑後運輸	株式會社	運輸	全 九六	四、七七五、〇〇〇
砂糖合資會社		砂糖販賣	通町 二六八	四、〇〇〇、〇〇〇
久留米競商	株式會社	商品競賣	榑原町 六	二、五〇〇、〇〇〇
日田材木	合資會社	材木賣買及引受の立合	京町 六八	二、〇〇〇、〇〇〇

(十五) 工業會社

(明治三十二年)

名	稱	營業種別	所在地	拂込資本
赤松合資會社		傘製造及貸金	篠山町	四七、二三一 <sup>円</sup> 、一五〇
赤松耕本村合資會社		耕製造	上	二〇、〇〇〇、〇〇〇
株式會社觀文社		活版	原町	三、六〇〇、〇〇〇
特許耕合名會社		耕製造	裏町	三〇、〇〇〇、〇〇〇
九州紡績會社分工場		紡績	篠山町	

(十六) 市場

本市に於ける市場を擧ぐれば左の如し

市場名	賣買品目	所在地名	開市月日	一ヶ年賣上金額
魚市場	魚類	魚屋町	毎日	一九五、六六八 <sup>円</sup> 、〇〇〇

(十七) 商業機關

(甲) 久留米商業會議所

明治三十一年十二月久留米商工會評議員會に於て商業會議所設立の議起るや全會一致其調査を決し七名の委員を選擧せり之れと同時に久留米實業會に於ても亦其計劃を企圖し其調査に着手す兩者の意見一に歸し互に協力して其歩を進め三十二年二月三日市役所内に假事務所を設置するに至れり二月十七日調査書類結了し二十二日發起者

全	野菜市場	全	田町	全	二八、一四〇、〇〇〇
全	野菜類	通町五丁目	全	一二、四一七、〇〇〇	
全	吳服町	全	全	二、九〇四、〇〇〇	

の調印を終へ二十五日有権者總集會を開き出願を決議し三月三日主務大臣に向て設立の出願を爲し六月十四日設立認可を得、九月二十七日第一回の會員選舉を行ひ茲に會議所の成立を見るに至れり明治三十四年度經費千八百五十六圓七十二錢四厘なり

(乙) 同業組合

名	稱	事務所所在地
久留米	耕同業組合	兩替町
久留米	織同業組合	芋坂川町
千歲川第一區、第二區	同業組合	日吉町
久留米	受酒業同業組合	芋坂川町
織貫	製造業組合	兩替町
久留米	風琴同業組合	芋坂川町

旬報にして毎月一の日之れを發兌す

(丙) 久留米商報

第四編 社交機關

(一) 久留米俱樂部

有志者相謀り明治三十四年櫛原町に之れを設立す會員百餘名、幹事評議員ありて其事務を處理す内に大弓場あり碁將碁席あり新聞雜誌閱覽所あり又西洋料理部あり設備未だ全きを告げざるも諸人の集會

筑後木嶋同業組合	櫛原町
酒類販賣同業組合	全
吳服同業組合	全

場としては適當の場所なり

(二) 集會堂

集會堂は櫛原町華香園内に在り千歳の浮嵐は窓紗の間に落ち肥筑の山影は淡く玻窓に映じ小笹城の石壁は近く其西檀に望むべく老松古檜堂を掩ひ蒼華滴らんと欲し一望空豁天清ふして地淨、春花秋月又一段の風致あり一たび堂に上るものをして心意爽然たるを覺へしむ

(三) 球突場

櫛原町華香園内に在り

(四) 劇場

萬歳座 今町にあり規模廣大なり

惠比須座 小頭町一丁目にあり結構壯麗にして今町の萬歳座と共に

本市の二大劇場なり

日吉座 目下日吉町に新築計画中なり

第五編 教育

(一) 普通教育

市立日吉尋常小學校	日	吉	町
市立庄島尋常小學校	庄	島	町
市立兩替尋常小學校	兩	替	町
市立女子高等小學校	篠	山	町
市立男子高等小學校	全		
市立久留米高等女學校	全		
私立中學豫備學會	全		
縣立尋常中學明善校	全		

(二) 實業教育

縣立福岡工業學校分校  
市立久留米商業學校

三井郡國分村  
庄島町

(三) 社會教育

私立圖書館

篠山町

第六編 官衙及公所

名稱

所在地

久留米區裁判所  
久留米警察署  
久留米憲兵分隊本部  
久留米監獄支署  
久留米稅務署

篠山町  
兩替町  
宮川町  
篠山町  
兩替町

第七編 旅人宿

華を扱けば左の如し

青々館  
鹽屋  
松屋  
柳屋

細工町  
三本松町  
同  
同伊勢宮の内

久留米郵便電信局  
二十四旅團司令部  
四十八聯隊司令部  
久留米市役所  
久留米市立病院

芋扱川町  
三井郡國分村  
全  
兩替町  
京町

日 柴 布  
新 田 屋  
館 田 屋

同 同 雨  
替 町

# 久留米案内終

## 附 録 筑 後 名 所

### (一) 日向神山

羽犬塚停車場より日向神まで六里餘福島黒木を過ぐれば大淵村あり之れ同山に入るの門戸にして大淵村まで腕車を驅るべし

日向神山は八女郡矢部大淵二村の間にありて矢部川其中を貫流し河南河北奇巖怪石累々として聳ち一たび其境を蹈むものは其奇勝景に驚かざるものなし今其概を記さんが一磐水を貯ふるを御盥山といひ泉水微温なるを湯湍といひ月足橋を渡りて林中豊を見るは即ち日向神社祠なり松瀬を過ぎて水あり潮井川といひ橋を渡りて南すれば一大巖を得る周廻一里餘巍峨天を刺すを黒巖といひ傍ら松背巖、不動



巖、楯巖あり出来淵橋を渡れば曳淵巖あり奇怪壯大人の眼目を奪ふ  
 曳淵橋よりして數百步斷巖の下に茶亭あり此の際に双奇巖あり一を  
 陽徳といひ一を陰徳といふ又破風巖、矢櫃巖、弓掛巖、等あり其平  
 豁列床の如きを千床巖といふ頂に清水を盛るを虎巖といふ曰く白瀧  
 曰く天戸巖曰く龜尾巖曰く枕巖、鞠巖、曰く蹴破巖、曰く正面巖更  
 に二双嶺に登りて此の諸奇を回顧すれば一陣の下にありて攢蹙累積  
 遯隱を得るなし盖譎詭變幻の中自ら清秀深沈の態を帯ぶ之を西海第  
 一の勝地といふも証言にあらざるを信ず惜哉地僻にして人到らず此  
 奇勝をして空しく天下に埋没せしむるを若し編者をして頼翁の筆あ  
 らしめば夫れ此の景を天下に喧傳せしめ馬溪をして顔色なからしめ  
 んを悲かな

正面巖

轉 島 石 梁

壁立衝天不少欬

停筇仰望盡吟思

欲驅雲霧揮雄筆

正面正中書一詩

少壯東西好遠遊

字中名勝中周流

始憐故國佳山水

間弄風光悅老眸

(二) 靈巖寺

羽犬塚停車場より靈巖寺まで四里餘福島黒木を經れば直に同所に  
 達すべし

靈巖寺は八女郡鹿子尾村にある山寺にして其域内に奇巖あり陽巖と  
 いふ其數七八個大者高さ數十尺皆頭大に喉陥り勃然突起形勢眞に通  
 るの狀實に人工を以て削成するが如し觀るもの絶倒せざるはなし又  
 坐禪巖と稱するものあり高五六十丈遊人巖窟を攀ちて纒かに登るこ

とを得べし頂上方十尺餘平垣にして坐すべし寺祖瑞石の坐禪せし所  
といふ亦南筑の一奇勝なり

靈巖寺

樺島石梁

巖成陽象鹿山中 羅立衝雲聳碧空 形勢逼眞何爾甚  
美他造物喜奇工

(三)三井郡の部

久留米兵營 國分村 久留米停車場を距る凡一里

二十四旅團の本營にして聯隊は本地及福岡城に分屯し本地にある  
は四十八聯隊なり

朝妻府中 同停車場より一里

本市を出でて杉馬場を過ぐれば則ち朝妻なり清泉湧出し夏時炎熱

の際吟節を移すに足る

旗崎御楯社

同停車場を距る一里六丁

旗崎は府中の東方高良山下にある一小丘にして古昔神功皇后西征  
の時御旗を駐め給へる地にして名に因て起る所なり招魂所あり

愛宕山 御井町 同停車場より凡一里十丁

地高爽にして最も秋夜の觀月に適す

東林寺 上津荒木村 同停車場より一里半

神代渡 合川村 同停車場より凡一里十丁

文永十一年博多に蒙古襲來の時神代良忠筑後川に浮橋を架し肥後  
薩摩日向大隅の諸軍を渡したりと云ふ

大刀洗川 大刀洗村 同停車場より一里半

菊池武光の小貳頼尙と戦ひ歸來血刀を洗ひたる河なり

床島堰 堰島村 同停車場を距る三里

正徳二年稻敷、八重龜、境、三村の庄屋之を築造す

善導寺 飯田村 同停車場を距る三里

浄土宗鎮西本山にして子院の本國及び諸州にあるもの百餘寺

千光寺 草野村 同停車場を距る二里半

前征西將軍懷良親王の御墓あり

温石谷 高良内村 同停車場を距る二里

發心山 久留米停車場を距る三里

櫻花の名所なり

(四) 浮羽郡の部

袋野堰 三春村原口 同停車場を距る三里半

寛文十二年大庄屋田代彌左衛門重榮父子の築造開鑿する所なり

大石堰 高見村大石 同停車場を距る九里

長野堰 櫻井村長野 同

寛文三年清宗村庄屋平右衛門夏梅村庄屋次兵衛高田村庄屋助左衛門今竹村庄屋平左衛門菅村庄屋作之丞の築造する所なり

八満宮 吉井村 同停車場を距る七里

石窟 朝田村 同 九里

(五) 八女郡の部

舟小屋 尾島村

舟小屋は羽犬塚驛より二十五六丁の南にありて風光頗る妙に礦泉

あり胃病に大効あり

後征西將軍良成親王御墓

羽犬塚驛より十里

御墓は矢部村の奥御側名にありて其深山幽谷の裡に埋没するもの  
五百余年明治十一年に至り官定ありて御墓に列せられ墓掌墓丁を  
置かれたり

平氏百人塚 尾島村

羽犬塚停車場より凡十八丁

石人塚 一條村豊福

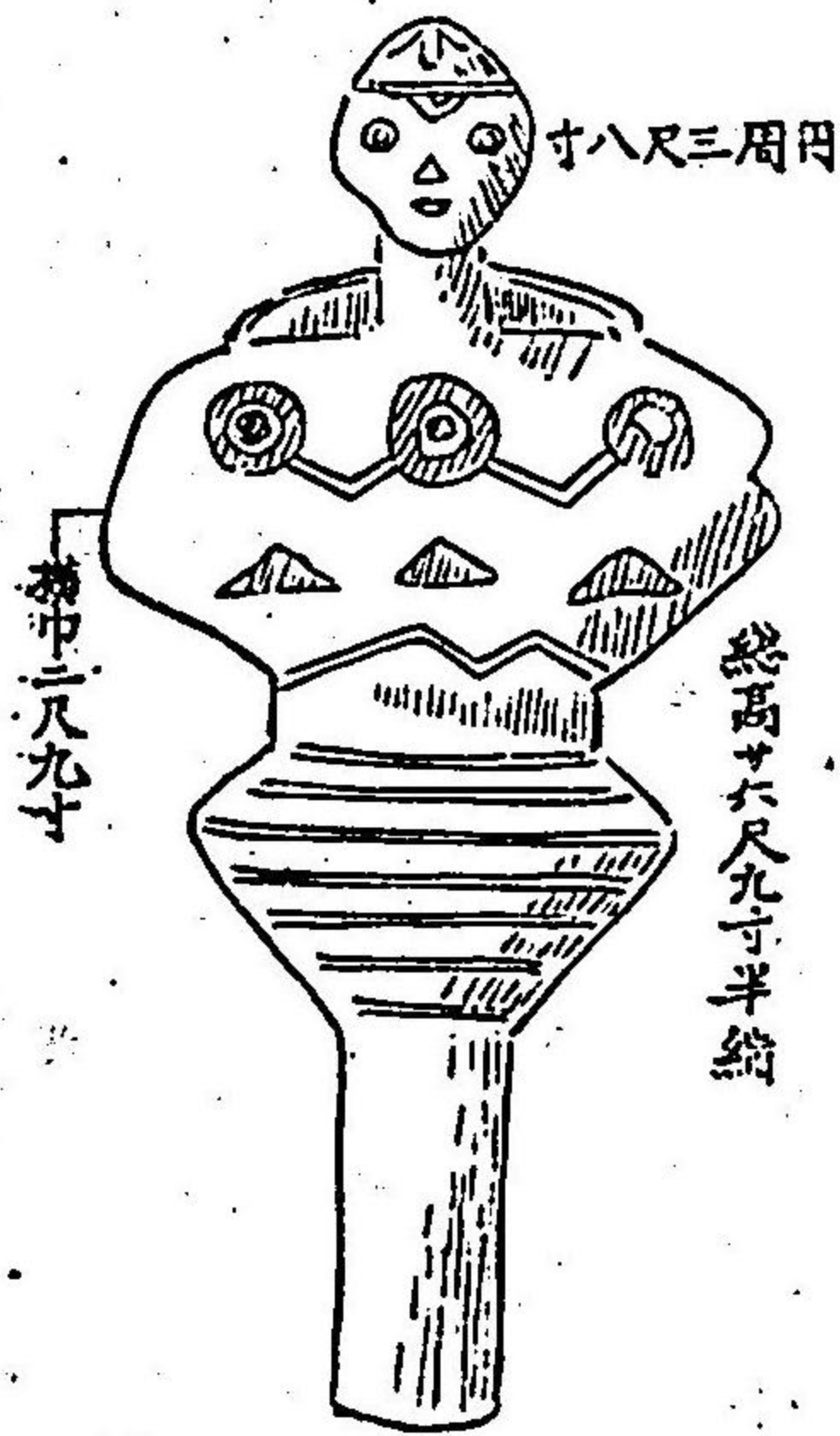
久留米停車場

より一里半

筑紫の國造磐井の墓

地なりと傳ふ

筑後一條村人形原石人之畧圖



朝鮮松原 尾島村

羽犬塚驛より一里

天満宮 水田村

同 驛より十八丁

(六) 山門郡の部

清水寺 本吉村

矢部川驛より一里

新宮 柳河

同 驛より一里半

福嚴寺 城内村

同 全より一里廿五丁

立花試験場 中山村

同 全より一里半

(七) 三池郡の部

三池炭坑

大牟田驛より十八丁

普光寺 三池村

同 驛より一里

臥龍梅を以て有名なり

四ツ山 大牟田の南 同驛より一里半

山下に早米來村あり弘法大師初めて米を播付けたる土地なりと傳ふ此地岩石美にして風光麗なり

(八)三瀨郡の部

天満宮	鳥飼村	久留米驛より凡十二丁
風浪宮	酒見村	同 五重
寛元寺	西牟田村	同 二里
朝日寺	大善寺村	同 一里半
玉垂宮	同	同

明治三十五年三月三十一日印刷

明治三十五年四月十日發行

定價金卅五錢

著作  
所有

編纂者 淺野 陽吉

編纂者 武田 令太郎

發行者 菊竹 嘉市

發行兼印刷者 今關 榮藏

福岡縣久留米市米屋町三番地  
東京市京橋區銀座二丁目九番地

發行所 久留米市 米屋町 金文堂

新物

絹布本綿古着

新物仕立袖類

新形トコト

婦人用コート

新紋張蒲團類

金吾衣服店

卸商 井筒 司 卯 助

久留米市通所  
吉丁目番地

國産久留米絰縞商

久留米市草扱川町二丁目

田高本勝次

二

國

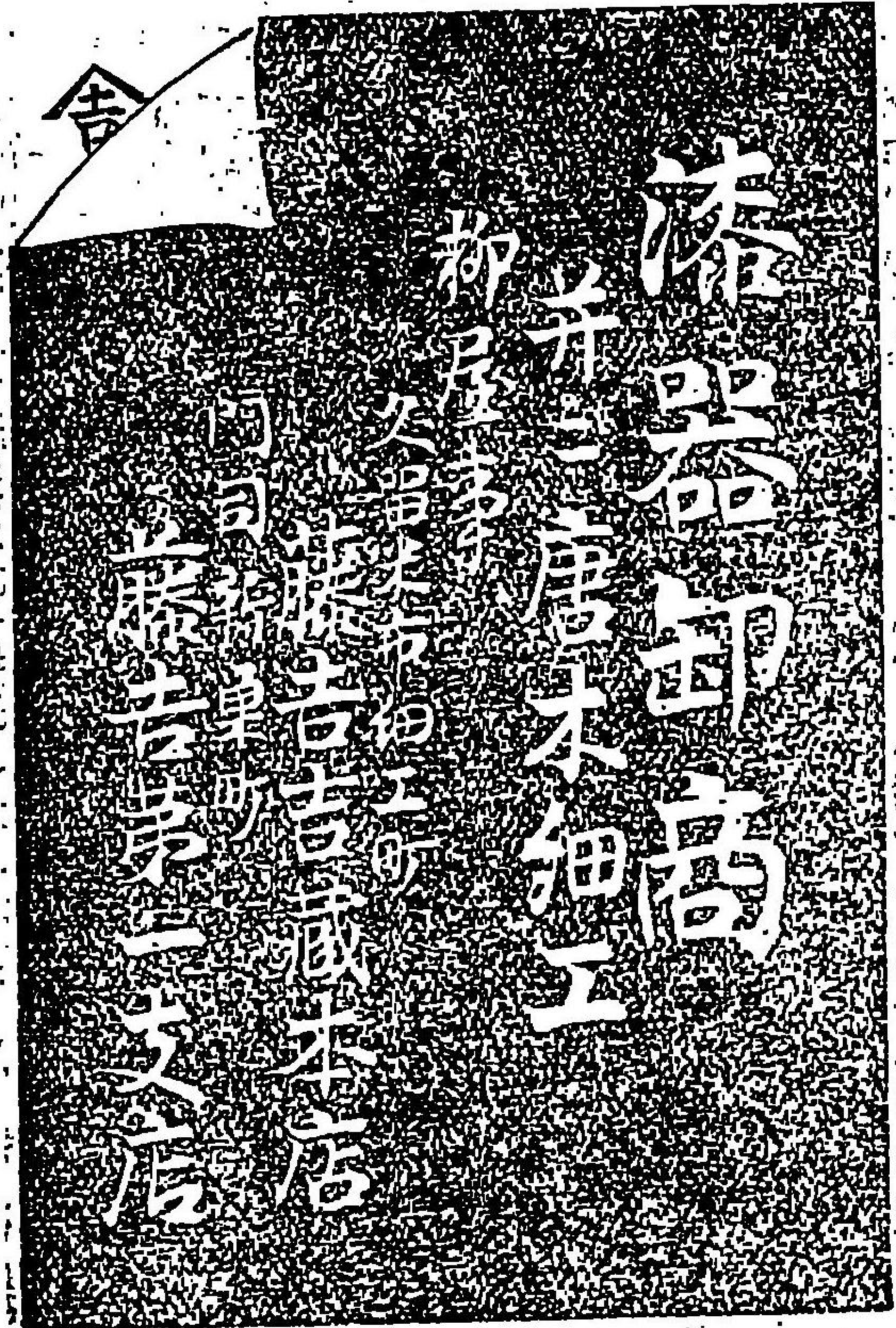
やまの組製品販賣

久留米絰縞卸商

産

久留米市通町四丁目  
野田儀市商店

三



四

技術の巧妙にして印刷の鮮明なるは弊堂の特色なり

五

活版  
石版

印刷營業

淺野秀友堂

久留米市片原町二十三番地

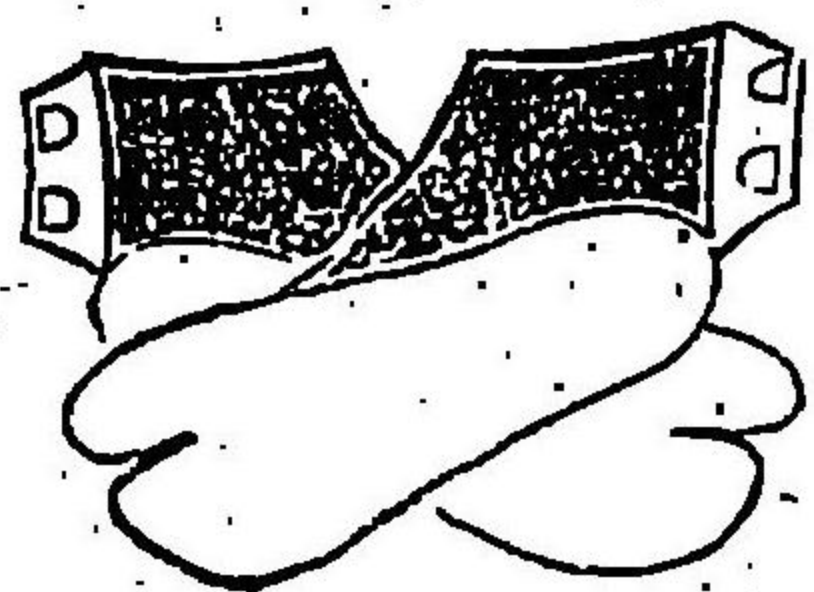
(明治二十五年創業)

期限の迅速にして代價の低廉なるは弊堂の本領なり



各博覽會品評會有功賞牌受領  
染色地質裁縫堅牢本店之特色

品等優實確



志業やたび

久留米市芋坂川町  
島屋商店專

石橋德次郎

鷓

六

三國屋旅館

七

久留米市片原町

百川増太郎

清印八ハシカ子一フ

調進所

舶來雜貨商

米屋町 秋山洋物店

◎眼科專門診察治療

診察時間

午前自九時

午後自三時

久留米市荳坂川町二丁目

眼科醫士 石田英

Dr. W. Yeguchi  
DENTEL OFFICE

米國最新式無床入齒術  
米國最新式金冠連結術  
金銀ゴム有床入齒及ヒ  
其他最新式治療

久留米市庄島町

齒科醫

江口航

利器

TYPE GRAPHIC

文明

ASANO SHUWENDO.

活版印刷所

●秀英堂ハ……代價低廉にして便利且經濟

●秀英堂ハ……期限正確にして丁寧且正

●秀英堂ハ……活字新物にして鮮明且敏

●秀英堂ハ……技術精巧にして意匠且斬新

福岡縣久留米市兩町

淺野秀英堂

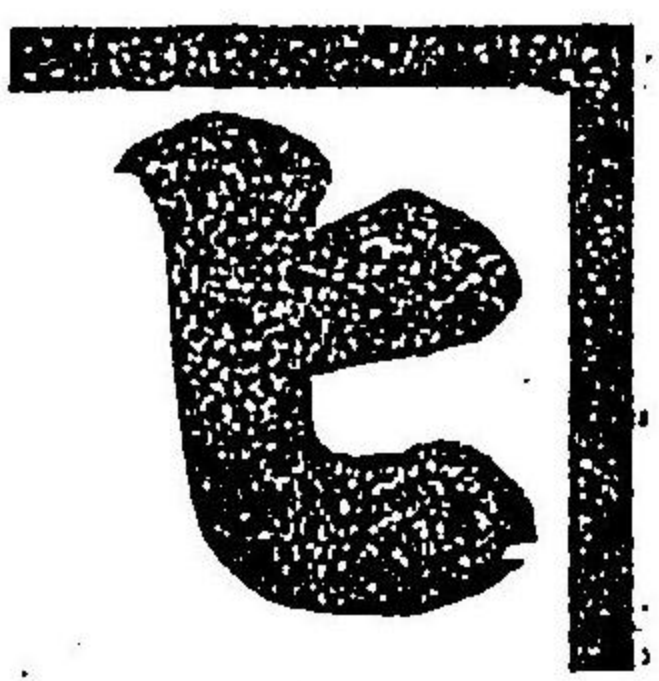
(スエルマ) 電信署號

新仕立古物

洋服類各種

其他毛織物

製造品一切



北村洋服店

並御誂物御好次第裁縫仕候

# 營業所

本店

久留米市兩替町拾四番地

支店

筑前國遠賀郡八幡町尾倉海岸通

三

三

久留米市兩替町廿五番地

診察治療時間

每日午前午後

風斗齒科治療所

# ○御旅館

時候柄客室及ヒ膳部ノ清潔ハ勿論温石  
ノ浴場ヲ設ケ萬事御便利ヲ計リ御不滿  
ノ感ナヲ一ニ注意セリ

久留米市兩替町

日新館

停車場ヨリ東二町

一四

一五

## 自轉車印 保險メヤリ

シ	ズ	パ	キ	サ	手	靴	運	婦	シ	ヂ	バ
ヤ	ボン	ツ	ヤ	ル	袋	下	動	人	ヤ	バ	ツ
ツ	下	チ	又	又	又	又	シ	用	ツ	ン	チ
							ヤ				

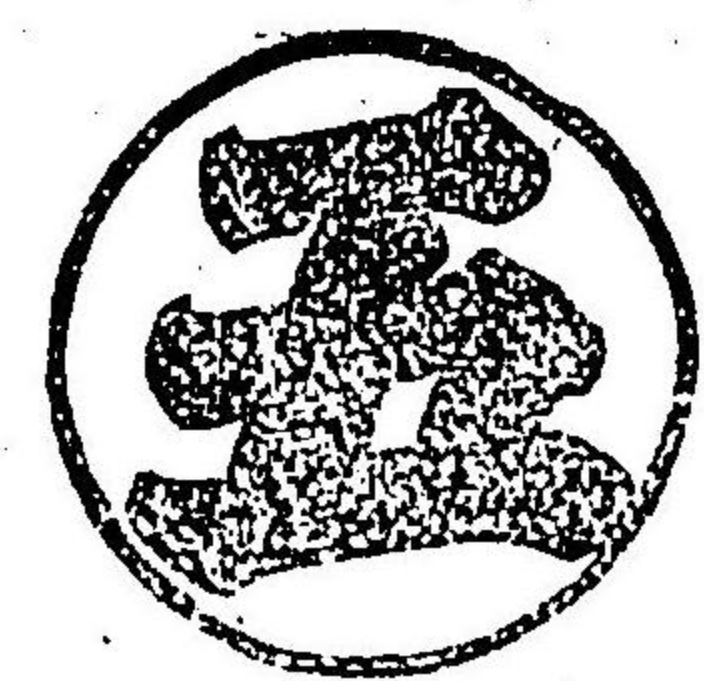
陸海軍諸官衛御用靴下

自轉車印メリヤスハ多年ノ經驗  
ヲ以テ地質ヲ精製シ堅牢ヲ主ト  
スルガ故ニ絹糸絹襪等ノ如キ洗  
濯ニ耐ヘザル一時的裝飾品ヲ用  
ヒズ  
裁縫叮嚀ニシテ縫糸丈夫ナルヲ  
以テ普通有觸タル品ノ如ク縫目  
綻ノ憂ナシ  
其他數ヶ之異ナル所ハ現品ニ付  
御實驗ヲ乞フ  
(附言)袖口ノ大キクナラザルハ  
弊店ノ特色ナリ

製造元 久留米市兩替町

高橋商店

九州鐵道荷物取扱



明治運輸株式會社  
久留米代理店  
近藤

權吉

御旅館

久留米市繩手町

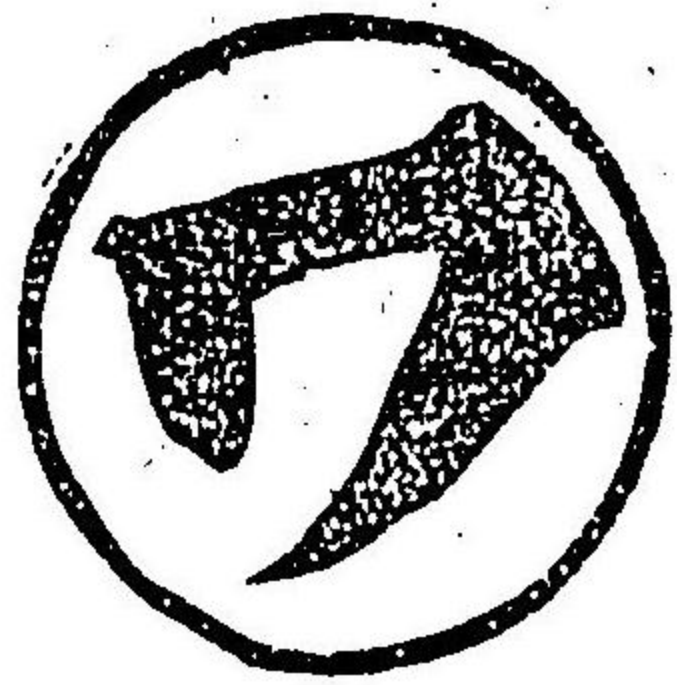
鶴進館事

高田鶴三郎

荷物回漕問屋

業務迅速

取扱確實

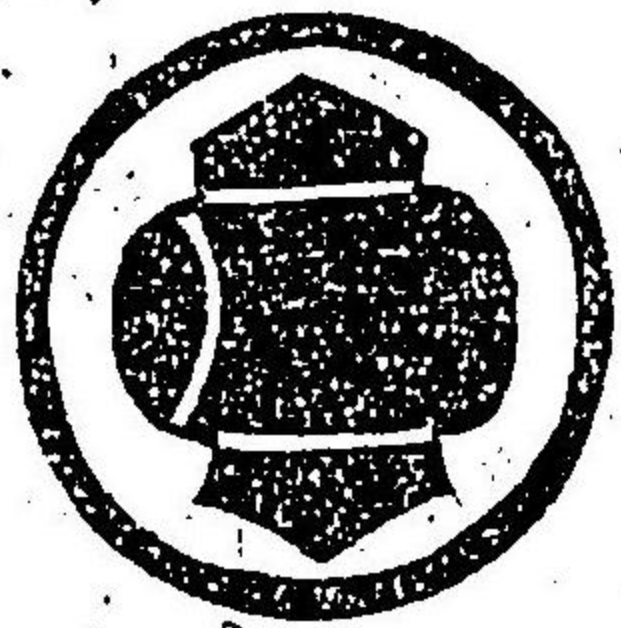


久留米市瀬ノ下町水天宮鳥居内

渡邊重吉

元

煙草卸商



久留米市瀬の下町  
綱文事

佐藤文右衛門

一九

# 和洋 御菓子司

并ニ滋養センベイ種々  
二色もちまんぢゆ

久留米市新町一丁目

江頭儀三郎

二〇

三

正札附 吳服太物商



久留米市商號荒甚  
三本松町 飯 田 甚 吉  
門司市 荒 甚 支 店  
本町

電話番号 百貳十八番

御注文ニ應シ小包郵便ニテ調達仕候



現金正札附

# 森新吳服店

弊店は吳服太物一切仕立新  
 物蚊帳等を販賣致候外染入  
 物仕立物の御注文に應し可  
 申候  
 品物は凡て確實なる正札附  
 にして流行新柄潤澤に取揃  
 へ居候間御一覽被下度候  
 御買取の品若し御思示に叶  
 はさるときは直に他品と御  
 取替又は代金と引換へ可申  
 候

三

三

精品定價

## 吳服太物洋及物商



久留米市三本松町

永岡幾兵衛

御旅館

久留米市三本松町宮内

柳屋

堤庫次郎

おん  
おん  
おん  
塩  
屋  
と

絹織物

- 一羽二重
- 一斜子
- 一風通織
- 一市樂織
- 一帶地
- 一壁上布
- 一縞糸
- 一使糸
- 一鹽瀨
- 一糸織
- 一紋織類
- 一仙臺平
- 其他各種

右製造販賣及御注文ニ應ス

久留米市新町壹丁目

富川商店

内 外  
砂 糖 卸 商



久留米市芋坂川町四丁目

弓削岩次郎

洋和 御菓子司卸小賣

併ニ 滋養料理受合

久留米市葎扱川町四丁目

龍屋事

岡本儀助

三

二五

印章彫刻  
活版印刷所

并ニ 印肉販賣

久留米市葎扱川町三丁目

吉田如春堂

久留米商業學校御用達

# 洋服裁縫所

久留米市芋扱川町三丁目

田中洋服店

三〇

# 入齒

久留米市芋扱川三丁目

久榮堂事

田島久太郎

三一

精良品ヲ撰ミ陣列販賣ス

久留米勸工場

正札ハ確實ナルヲ本旨トス

三三

三三

會席御料理



久留米市魚屋町

今村嘉助

蛭子屋宿館

久留米市今町三角行當

加藤鶴次郎

停車場ヨリ 貳丁

水天宮へ 五丁

高山彦九郎 十丁

篠山神社 五丁

八尋旅館

久留米市繩手町  
停車場通り角

八尋 夕 二

Matsuya Hotell.

Sandonnatsumachi,

Kurume.

館 旅 御



三本松町

●松屋旅館ハ市ノ中央ニ位シ停車場ヲ距ル僅カニ五丁諸官廳各銀行ハ二丁以内御觀光御買物ニモ最モ便利ニ御座候

●松屋旅館ハ全市第一ノ老旅館ニシテ懇切實直ヲ主旨トシ餘分ノ御失費ヲ省略シ末長ク高顧ヲ仰ク事ヲ心懸ケ營業仕候何卒御愛顧御投宿是所候

三七

三六

純正  
ス  
ケ  
ツ  
ト  
料理  
御  
菓子  
菓  
美  
優

進調子菓洋和

町下ノ瀨市米留久

堂 泉 鶴 留 津

鬮

菓

堂

肆

棧

街



蒲 鐸

冰

海 產

問 屋

町 五 細

塵 商 金 紙

三

和 洋  
硝 子 器 卸 商

打 綿 石 鹼 肩 掛  
餅 玉 總 販 賣 所

大 阪 丸 藥 瓶 一 手 販 賣  
久 留 米 市 通 町 壹 丁 目  
平 岡 治 平

三

印章版木之山印彫刻所  
朱肉印材販賣業

陸軍  
諸官衙

御用香月堂印房

久留米市通町  
壹丁目七番地

古 着 商

并ニ新物小袖類

久留米市通町壹丁目

中島屋事

空 閑 林 平

三府  
流行 婦人小間物商

化粧品、羽織紐、帶、打紐、

月琴、三味糸類、其他

久留米市三本松町上ノ丁

伏見屋事

吉 武 武 助

四二

西 洋  
雜 貨 商

并ニ吹風琴樂器類

久留米市三本松町上ノ丁

吉 武 常 吉

四二

新古衣服卸商

格外廉價販賣

久留米市通町壹丁目

商號古賀屋

寺崎良七商店

發電(テラリヨ)



四四

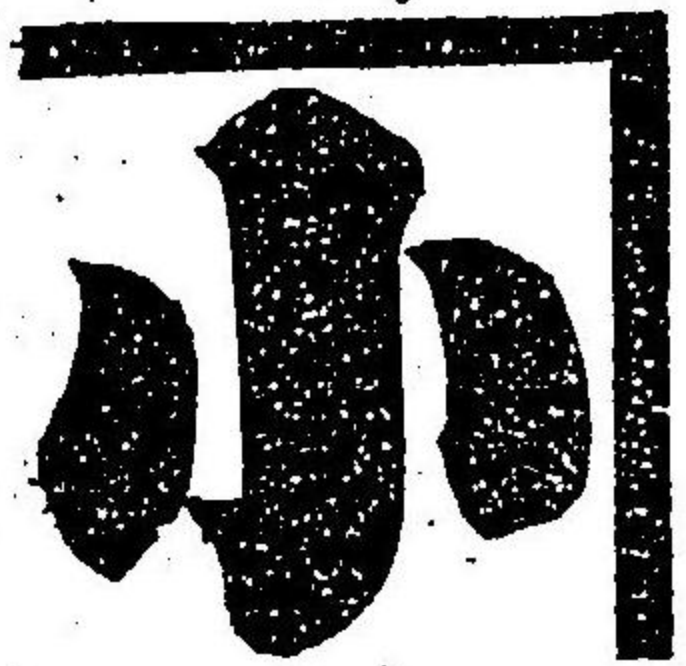
吳服太物  
洋反物類  
卸小賣商

四五

久留米市芋坂川町二丁目

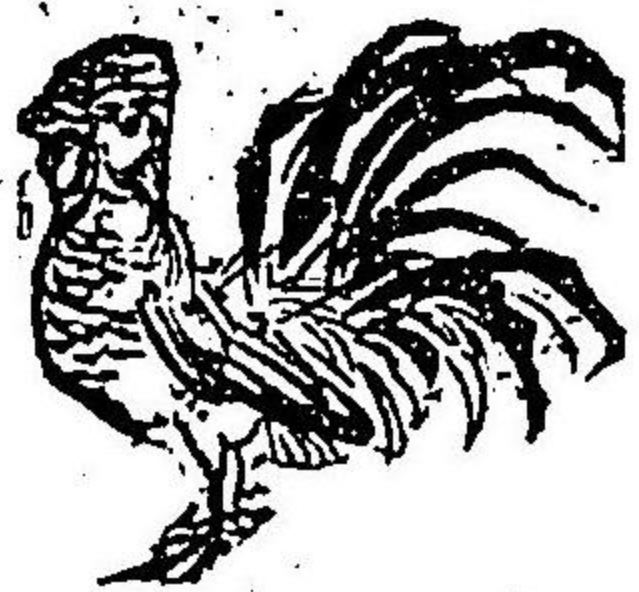
商號原小

原田伊之吉



極上等鶏肉

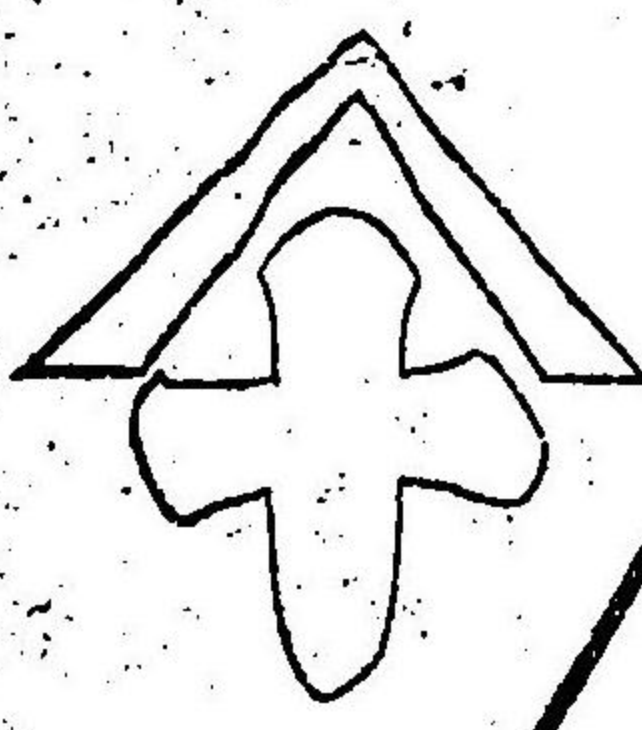
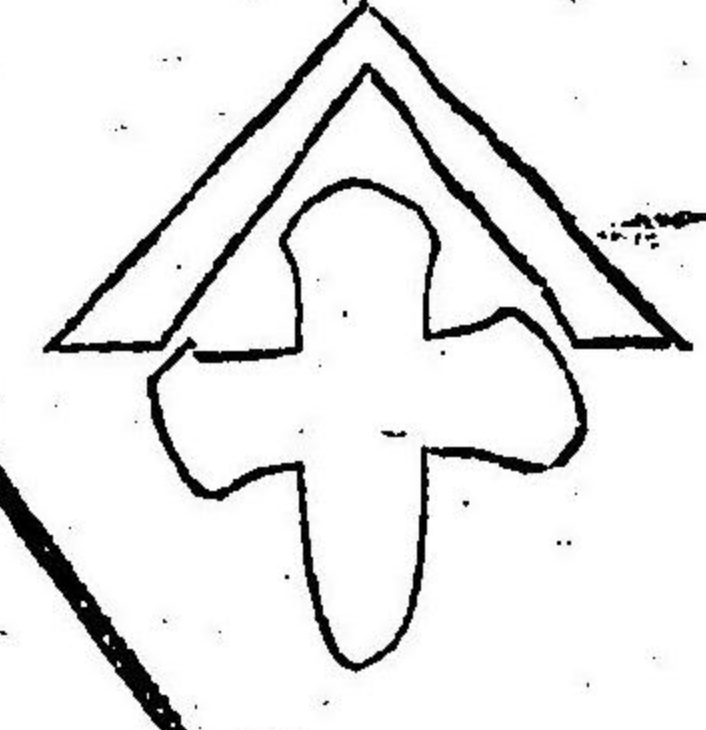
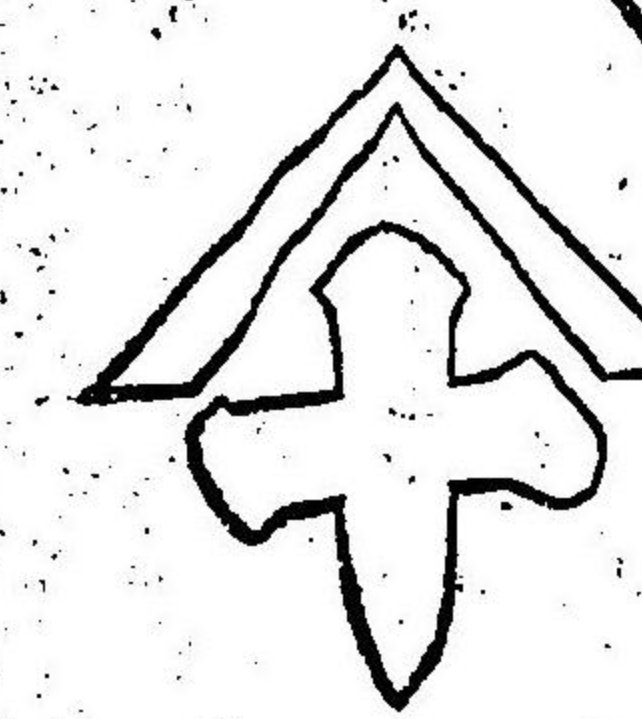
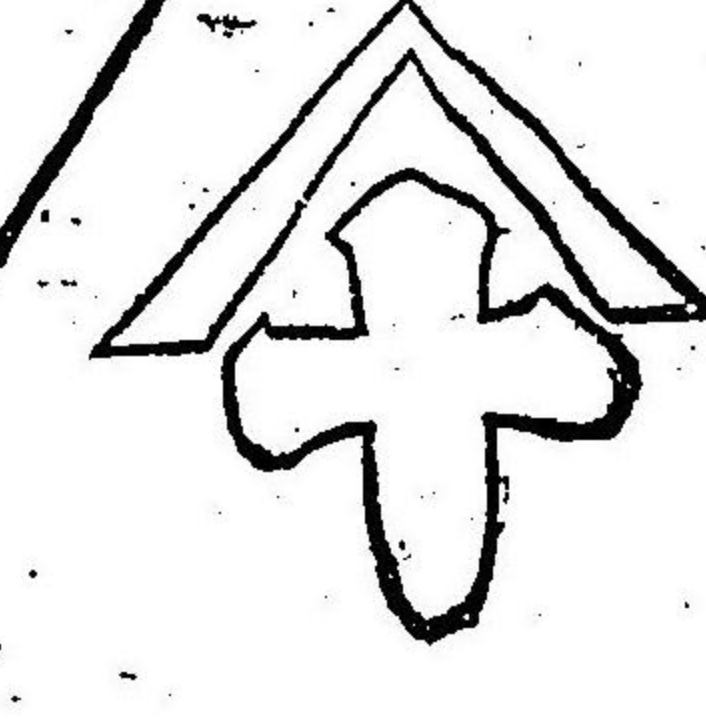
伊勢ノ宮内



満月事

田中熊吉

四六



  
 高塚  
 本店  
 久留米市  
 支通町二丁目  
 店  
 呉服大物洋及物商  



四七



四九

四八

物品ハ精撰ニシテ  
 茅集産場  
 正札ハ確實ナリ

會席  
御料理

久留米市日吉町

宮原金太郎

五〇

御料理

久留米市新町二丁目

柳亭

五一

慈善職工傳達所

衛生井戸とらへ請負所

諸廣告請負所

久留米市新町三丁目

改良葬式請負所 本村嘉三郎

五二

國産 紼編卸小賣商

并ニ紡績糸及石油

久留米市三本松町

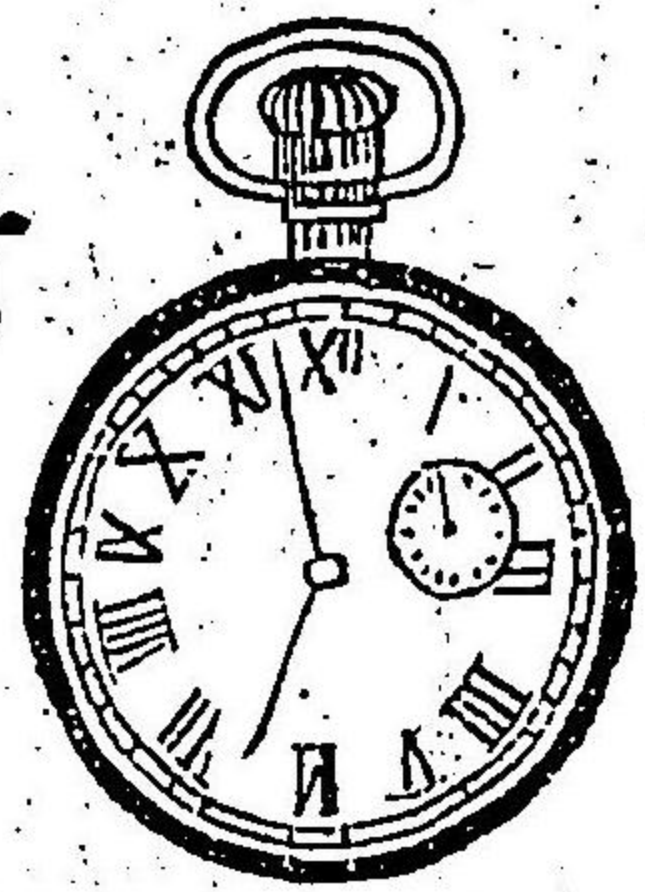
岡龜次郎商店

商標 今

五三



# 時計商



險

保

附

久留米市通町四丁目

素安時計店

五四

五五

## 吳服太物

### 卸小賣商

西



久留米市通町四丁目

野田義助

保 險 附



久留米市  
番銀  
松崎  
通計  
町販  
店  
目  
丁  
賣

五七

五六

久留米市櫛原町壹丁目二十番地

行德齒科診察治療所

# 九州鐵道貨物取扱所

各驛ニ支店及代理店アリ

貨物運送上ニ付テハ確實丁寧ニ取扱申上候ニ付  
不相變御愛顧アラントナ切望ス

## 九州運輸本店

末次四郎

五八

## 陶器卸商

并ニ印入盃請合所

久留米市米屋町



森山次作

五九

正確實國産久留米紼縞商

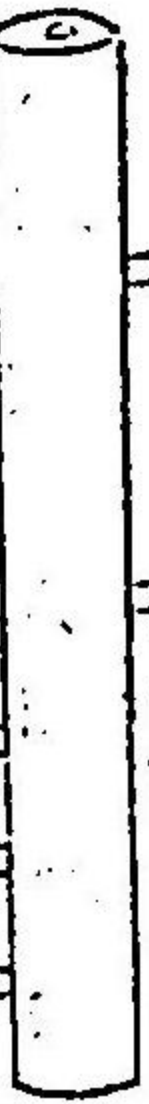
久留米三本松町集産場内

森山支店

吹風琴

新式美音

真鍮製大小



土丹製大小

音譜正確

竹製大小

為精廉價又以下販賣仕候條  
陸續沛注文被下度候也

久留米市藤川町

廣松風琴工場

久留米市通町丁目

販賣店 廣松次平

和洋

會席御料理

久留米市櫛原町

翠香園

萬履物商

商品ノ善良ナルト  
價格ノ低廉ナルト  
ハ弊店ノ特色ナリ

久留米市三本松町四ッ角

向井市次

羅紗卸商

福

久留米市米屋町

橋本猪之吉

洋服裁縫

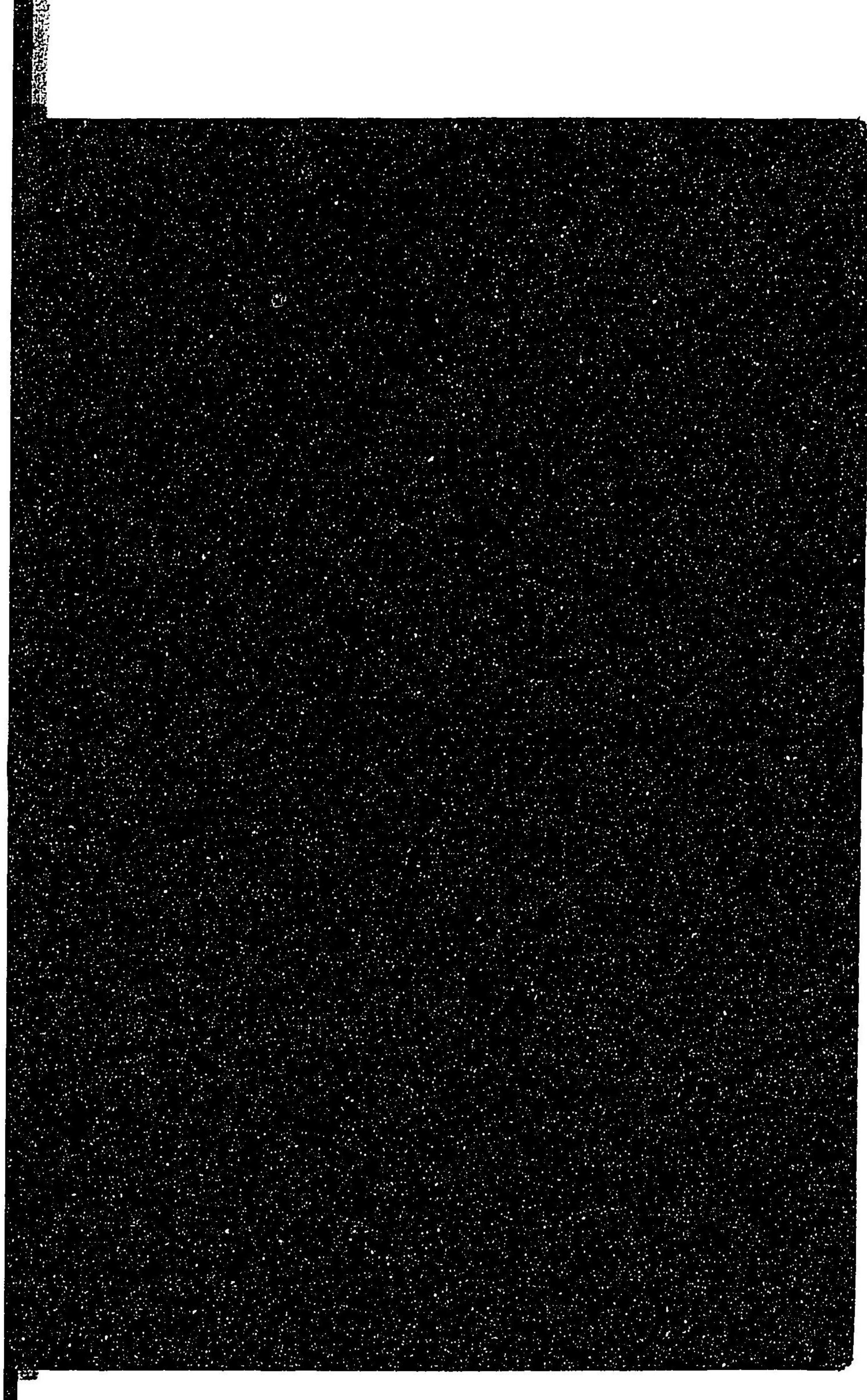
見本御入用の御方には進呈仕候

播

錦綉色名  
價抵格破

本行特  
湯和馬  
店

94
56







026199-000-6

94-36

久留米案内

浅野 陽吉

武田 令太郎 / 編

M35

ADC-3885

